

平成30年度
人権に関する市民意識調査
報 告 書

飯山市 教育部 人権政策課

目 次

調査の概要	1
調査結果	
回答者の属性	2
I 人権意識について	
問1 あなたは「人権」ということについてどのようにお考えですか。	3
問2 日本の社会では、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題（部落差別）などの差別をはじめさまざまな人権問題がありますが、あなたは、人権問題に関心を持っていますか。	5
問3 人権に関することで、あなたが見聞きしたことがあるものはどれですか。	6
問4 人権に関する講演会・懇談会・学習会・イベントに参加したことがありますか。	7
II 人権侵害について	
問5 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。	8
III 主な人権課題に関する意識について	
問6 あなたは、社会で女性に対する差別・偏見はあると思いますか。	11
問7 あなたは、社会で子どもの人権が守られていると思いますか。	14
問8 あなたは、社会で高齢者に対する差別・偏見はあると思いますか。	16
問9 あなたは、社会で障がいのある人に対する差別・偏見はあると思いますか。	18
問10 あなたは、日本に居住している外国人に対する差別・偏見はあると思いますか。	20
問11 あなたは、HIV（エイズウィルス）感染者やその家族に対する差別・偏見はあると思いますか。	22
問12 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に対する差別・偏見はあると思いますか。	24
問13 あなたは、犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	26
問14 あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。	27
問15 あなたは、性的指向（同性愛、両性愛）及び性同一性障がい者（生物学的な性とこころの性が一致しない者）に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。	28
IV 同和問題に関する意識について	
問16 あなたは、同和問題（部落差別）を知っていますか。	29
問16-1 あなたが同和問題（部落差別）を、知ったきっかけは次のどれですか。	30
問16-2 あなたは同和問題（部落差別）についてどのようにお考えですか。	31
問16-3 現在どのような面に同和問題（部落差別）があると思いますか。	32
問16-4(1) あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落（同和地区）出身の人であると知った場合、あなたはどうしますか。	33
問16-4(2) あなたが被差別部落（同和地区）出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたらあなたはどうしますか。	34
問16-5 同和問題（部落差別）を解決するためには、どうしたらよいと思いますか。	35
V 人権課題を解決する方策について	
問17 今後、人権課題として、市が積極的に取り組む必要があると思われる課題はどれですか。	36
問18 あなたは、人権問題に理解を深め人権意識を高めていくためには、今後どのような取り組みが必要だとお考えですか。	37
問19 人権教育や人権啓発の推進、同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる人権課題の解決などについて、ご意見、ご希望をお書き下さい。	38
調査資料	
調査様式	39

調査の概要

(平成30年12月実施)

1 調査目的

「飯山市人権政策推進に関する基本方針」に基づいて、様々な人権問題を解決するために、人権に関する市民の意識を把握し、より効果的な人権施策を進めていくうえでの基礎資料とする。

2 調査項目

人権意識、人権侵害、回答者の属性に関する設問など選択式の設問40項目(枝問含む)、記述式の設問1項目。

3 調査方法

- (1) 調査地域 飯山市全域
- (2) 調査対象 市内在住の18歳以上の男女2,000人
- (3) 抽出方法 平成30年12月1日現在の住民基本台帳から男女1,000人ずつ10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の区分から均等に無作為抽出

項目		計(人)		男性(人)		女性(人)		摘要
飯山市の人口		21,303		10,352		10,951		平成30年11月30日現在の住民基本台帳人口
18歳以上の計		18歳以上	抽出数	18歳以上	抽出数	18歳以上	抽出数	18歳以上は平成30年3月31日現在の人口
		18,310	2,000	8,820	1,000	9,490	1,000	
内訳	10歳代	407	64	209	32	198	32	男女は同数 抽出は各年代で均等 (10歳代は各年代の5分の1の人数、70歳以上で余りの人数を調整)
	20歳代	1,654	322	853	161	801	161	
	30歳代	1,875	322	974	161	901	161	
	40歳代	2,494	322	1,278	161	1,216	161	
	50歳代	2,680	322	1,368	161	1,312	161	
	60歳代	3,562	322	1,836	161	1,726	161	
	70歳以上	5,638	326	2,302	163	3,336	163	

- (4) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (5) 調査期間 平成30年12月20日から平成31年1月11日まで

4 回収結果

- (1) 発送数 2,000
- (2) 到達数 1,989
- (3) 回答数 712
- (4) 有効回答数 712 [35.6%]

5 調査結果の集計・表示方法及び数値等の取扱い

- (1) 前回調査:平成25年に実施した飯山市の「人権問題に関する市民意識調査」
- (2) 調査結果の比率は、各設問の無回答を含む回答数の百分比(%)を表している。このため、複数回答の設問では、百分比(%)の合計は、100.0%を超えるものもある。
- (3) 百分比(%)は少数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しない場合もある。
- (4) 県が実施した調査等について本調査と比較できる設問については分析している。
県:平成27年1月に実施した長野県県民文化部人権・男女共同参画課の「人権に関する県民意識調査」
- (5) 図表では、煩雑さを避けるために選択肢の言葉や文章を省略形にする場合がある。

調 査 結 果

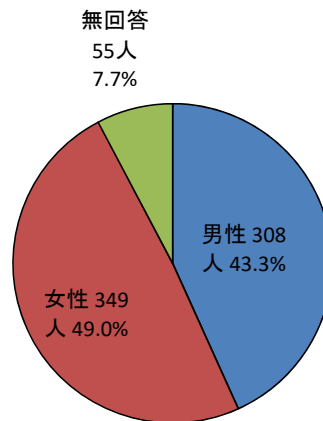
回答者の属性

1 回答者数

アンケート送付総数 2,000 人
 回答数 712 人
 回答率 35.6 %
 (前回調査…平成25年度 回答率 39.4%)

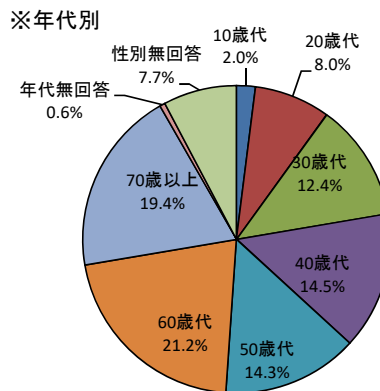
2 性別

	回答者数	構成比
男性	308	43.3%
女性	349	49.0%
無回答	55	7.7%
合計	712	100.0%

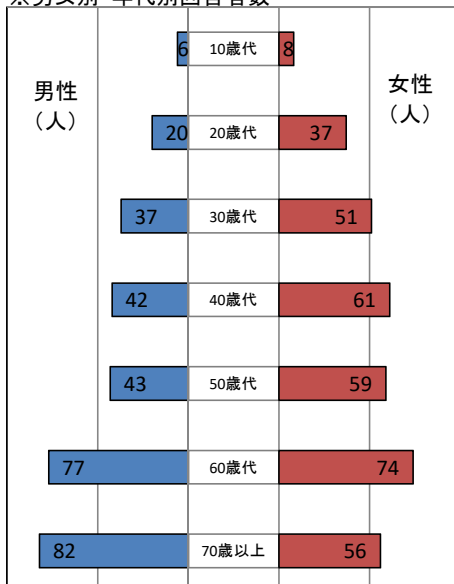


3 年代別

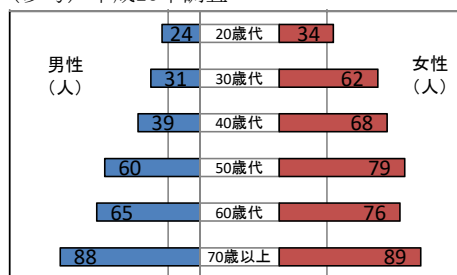
	男女合計	男性	女性
10歳代	14	6	8
20歳代	57	20	37
30歳代	88	37	51
40歳代	103	42	61
50歳代	102	43	59
60歳代	151	77	74
70歳以上	138	82	56
年代無回答	4	1	3
性別無回答	55	—	—
合計	712	308	349



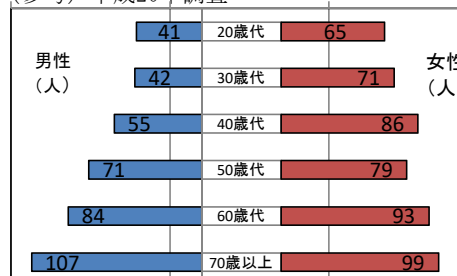
※男女別・年代別回答者数



(参考) 平成25年調査



(参考) 平成20年調査



3 地区別

地区名	飯山地区	秋津地区	木島地区	瑞穂地区	柳原地区	富倉地区
回答数	208	62	92	54	26	2

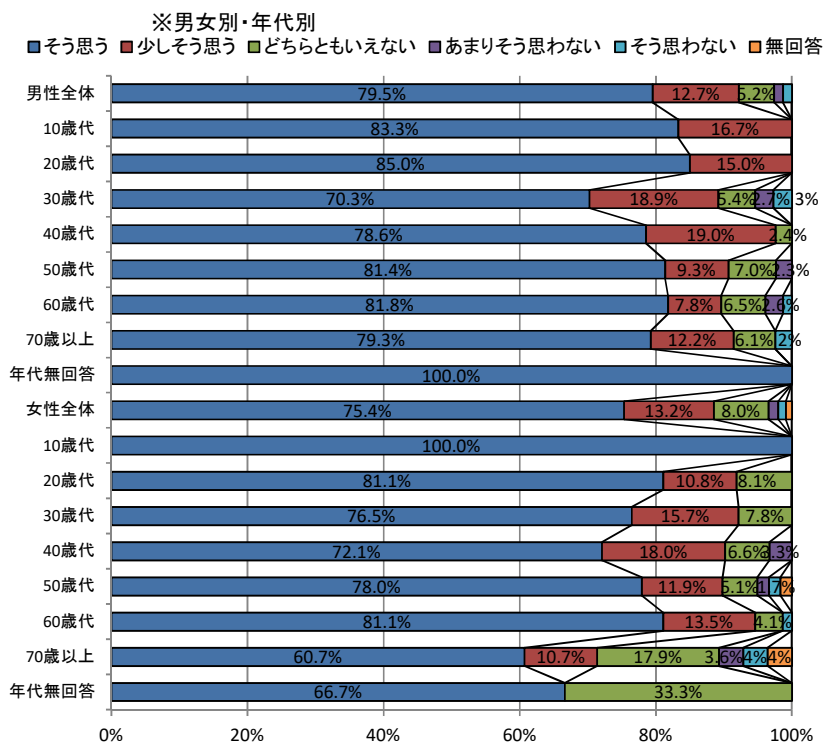
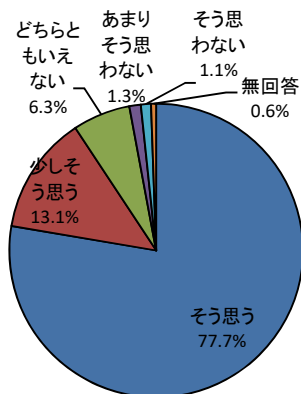
地区名	外様地区	常盤地区	太田地区	岡山地区	無回答	合計
回答数	21	78	64	29	76	712

I 人権意識について

問1 あなたは「人権」ということについてどのようにお考えですか。

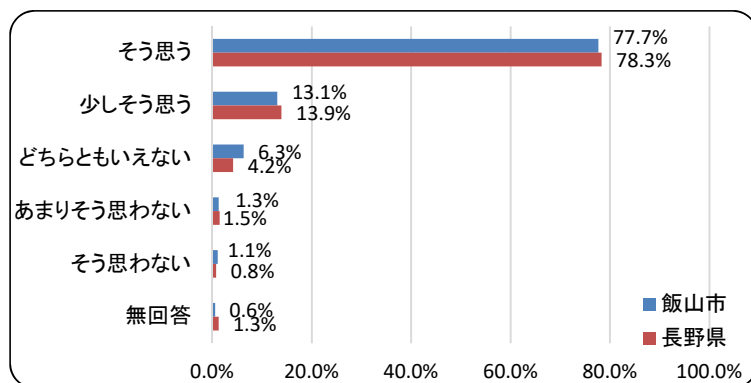
(1) 重要である(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答



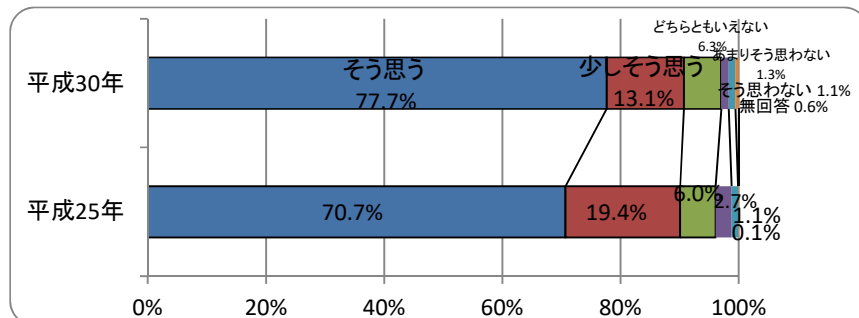
「人権」について、「重要である」、「少しそう思う」を含めると90.8%の人が重要であるとの認識を持っている。

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)



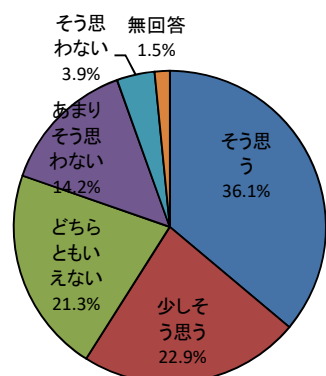
長野県との比較では大きな差はみられなかった。

※過去調査との比較

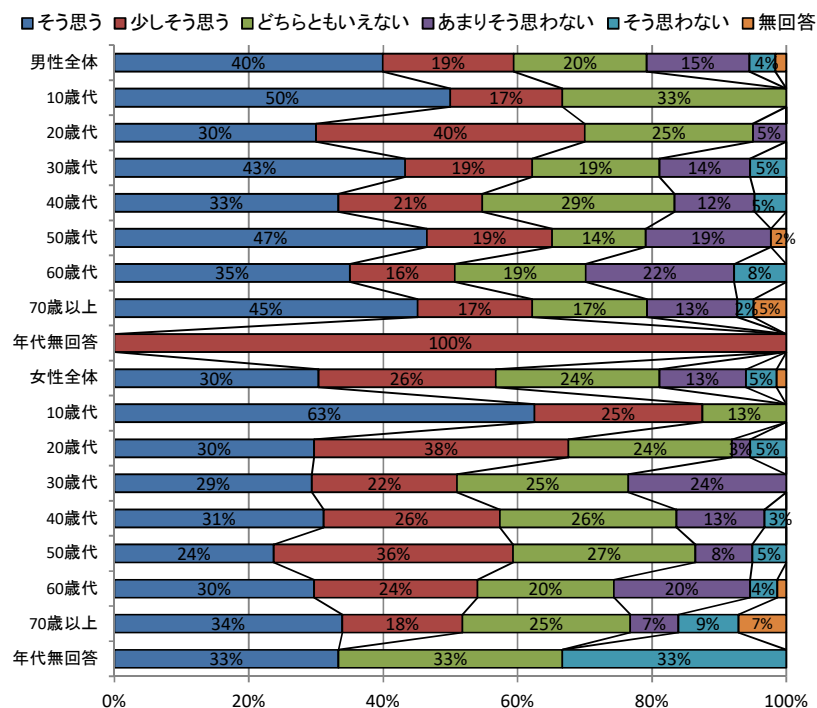


(2) 自分に関係が深い(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答

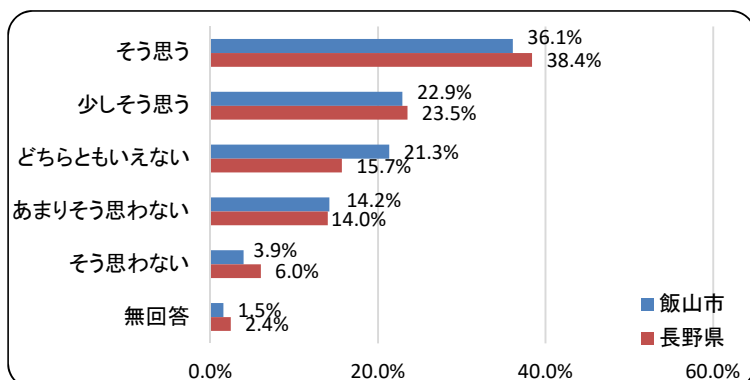


※男女別・年代別



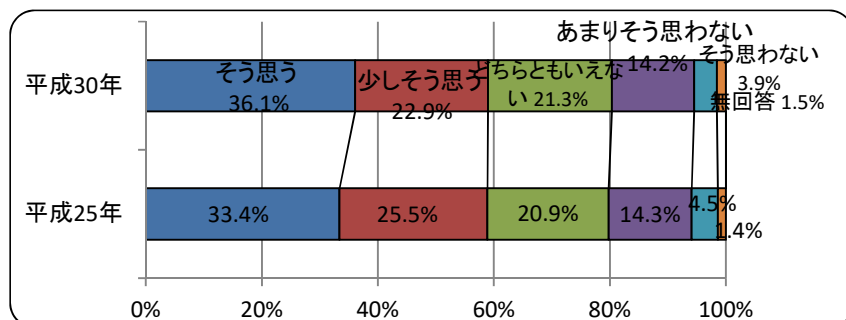
「人権」と自分との関係については、「自分に関係が深い」36.1%、「少しそう思う」22.9%で約6割が自分に関係が深いとしている。

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)



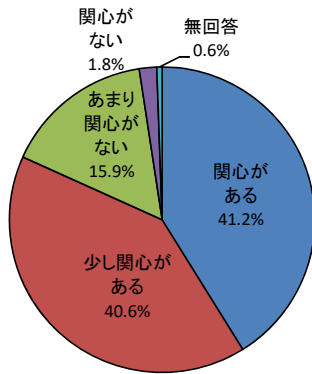
長野県との比較では「どちらともいえない」を選択する割合が飯山市の方が5.6ポイント多くなっている。

※過去調査との比較

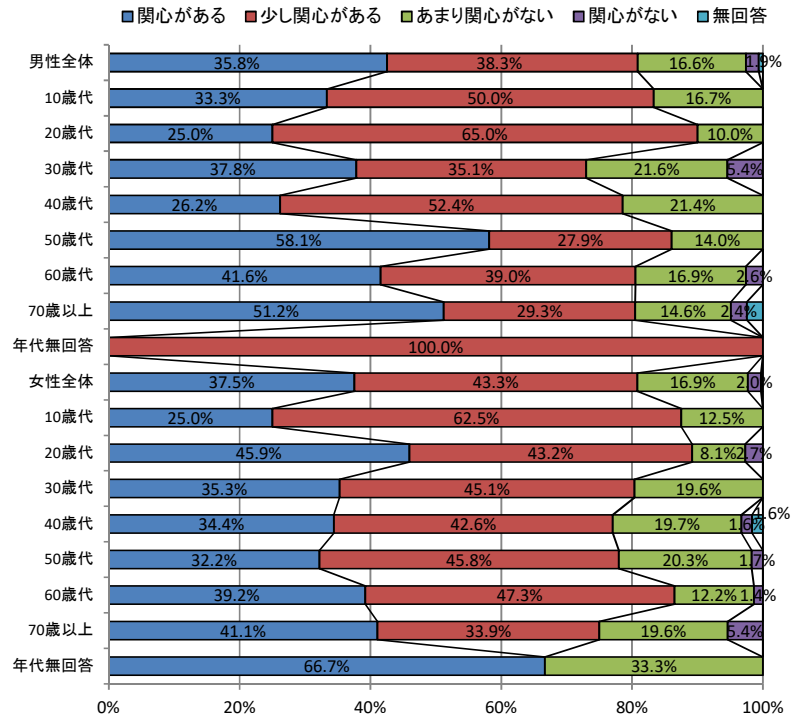


問2 日本の社会では、女性、子ども、高齢者、同和問題(部落差別)などの差別をはじめさまざまな人権問題がありますが、あなたは、人権問題に関心を持っていますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答

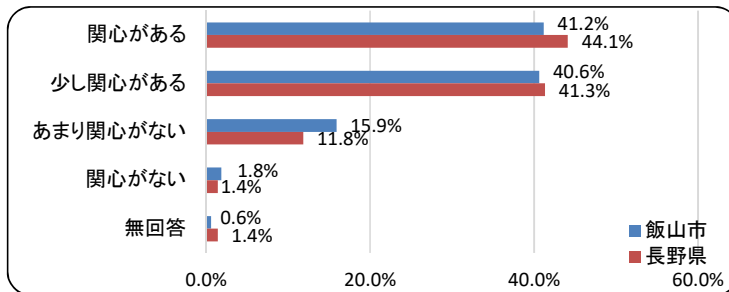


※男女別・年代別回答



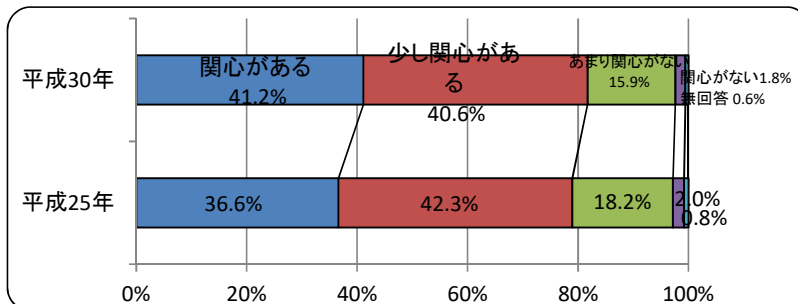
人権問題について、「関心がある」が41.2%、「少し関心がある」が40.6%をあわせると約8割が人権問題に関心を持っている結果となった。

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)



長野県との比較では「関心がある」、「少し関心がある」の合計が飯山市の方が3.6ポイント少なくなっている。

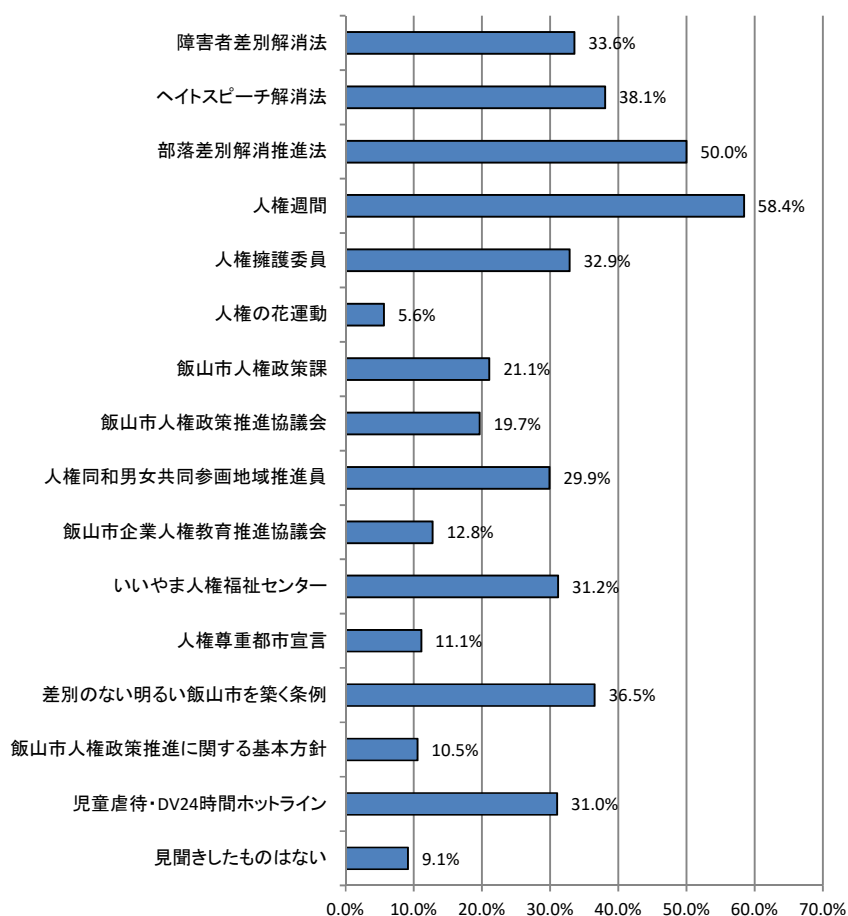
※過去調査との比較



問3 人権に関することで、あなたが見聞きしたことがあるものはどれですか。

(見聞きしたものをすべてに○をつけてください)

※全体の回答

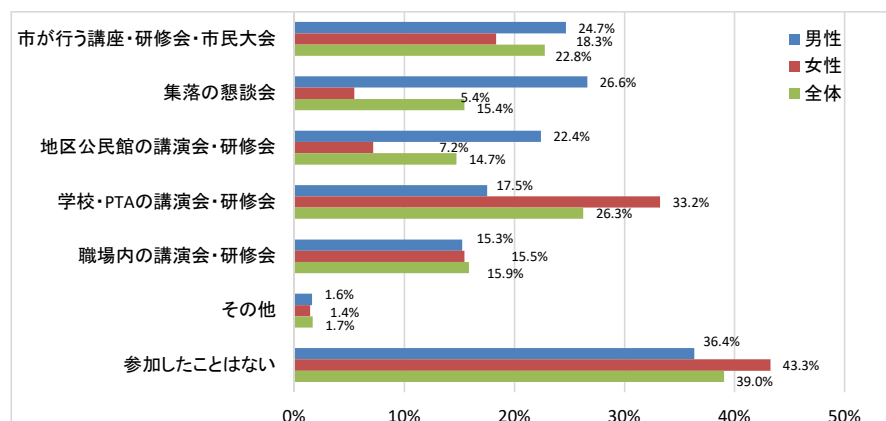


人権に関し、見聞きしたことで最も多いのが、「人権週間」で58.4%となっている。次に「部落差別解消推進法」50.0%、「ヘイトスピーチ解消法」38.1%、「差別のない明るい飯山市を築く条例」36.5%などの順となっている。(複数回答、上位4項目)「飯山市人権政策推進に関する基本方針」、「人権尊重都市宣言」の認知度はそれぞれ10.5%、11.1%である。

問4 人権に関する講演会・懇談会・学習会・イベントに参加したことがありますか。

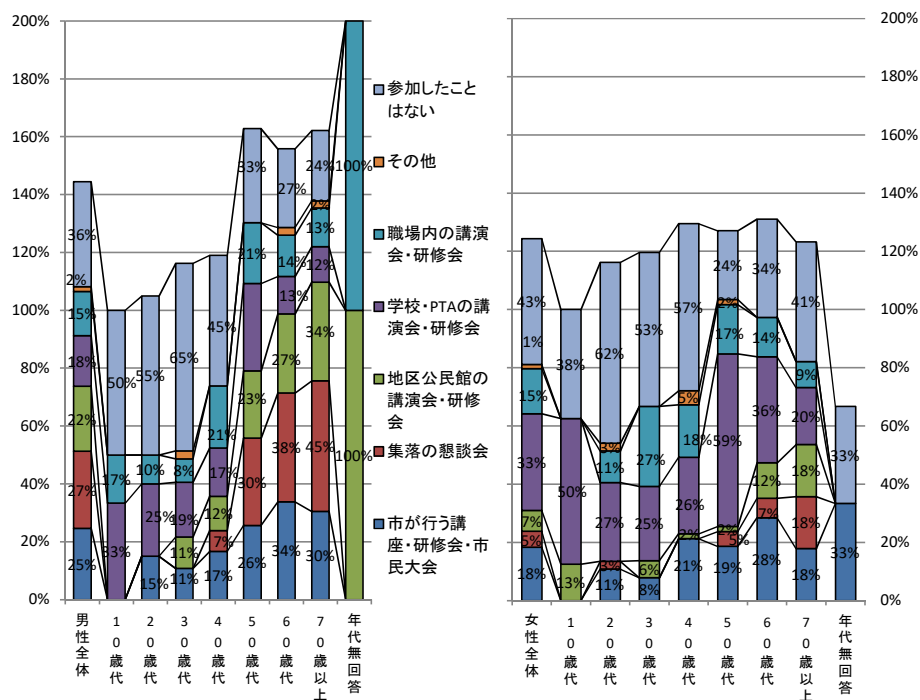
(参加したことがあるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答

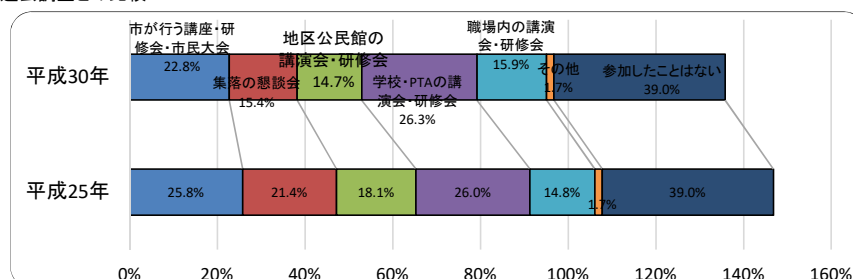


人権に関する講演・懇談会等で参加したことがあるのは、「学校・PTAの講演会・研修会」26.3%、「市が行う講座・研修会・市民大会」22.8%、「集落懇談会」15.4%、「地区公民館の講演会・研修会」14.7%などの順となっている。(複数回答、上位4項目) 男女別・年代別で傾向を見ると、男性は50歳代、60歳代、70歳代以上で「集落懇談会」を挙げた人の割合が高く、女性は10歳代、50歳代、60歳代で「学校・PTA」を挙げた人の割合が高い。若い世代は「参加したことがない」との回答が多い。

※男女別・年代別回答



※過去調査との比較



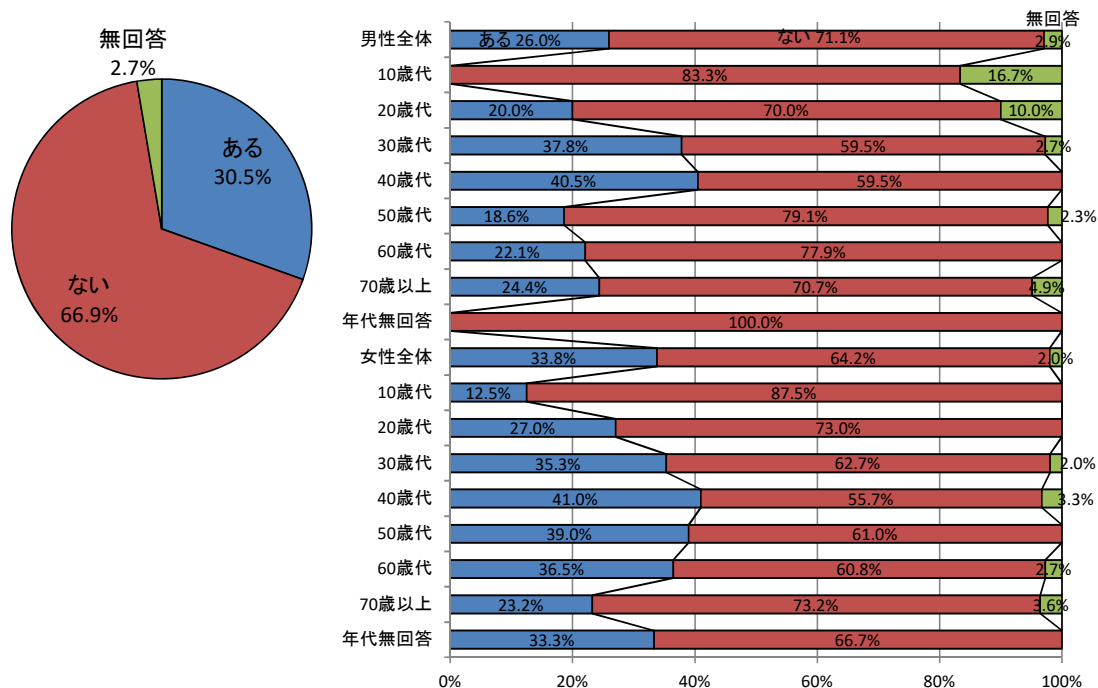
Ⅱ 人権侵害について

問5 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

(どちらかに○をつけてください)

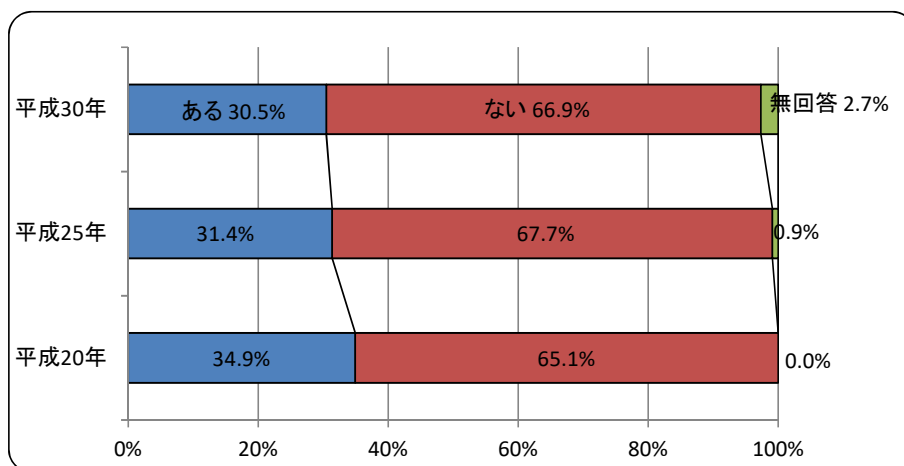
※全体の回答

※男女別・年代別



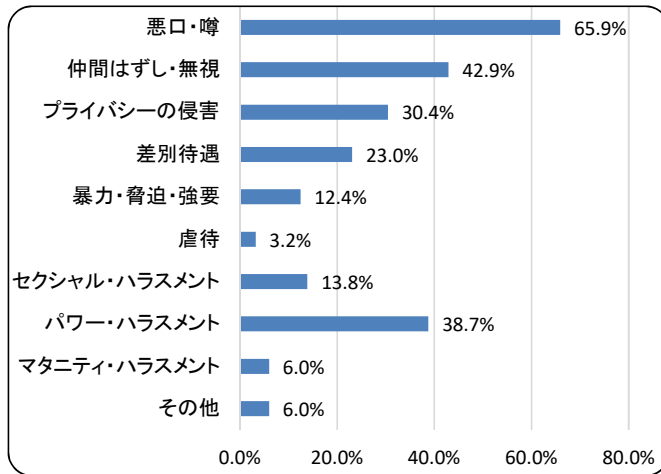
今までに人権侵害されたと思ったことがあるかについて「ある」30.5%、「ない」66.9%となっている。男女別で見ると「ある」と答えた人は、女性が男性を上回っている。前回の調査結果との比較では、「ある」は0.9ポイント減少し、「ない」が0.8ポイント減少している。

※過去調査との比較



問5-1 その人権侵害はどのようなものでしたか。

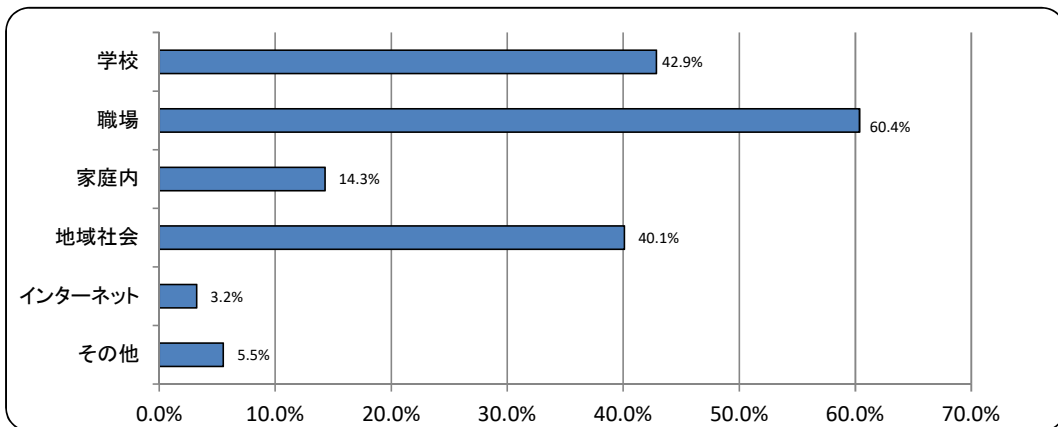
(あてはまるものすべてに○をつけてください)



人権侵害の内容は、「悪口・噂」が65.9%と最も多く、以下「仲間はずし・無視」42.9%、「パワー・ハラスメント」38.7%、「プライバシーの侵害」30.4%などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

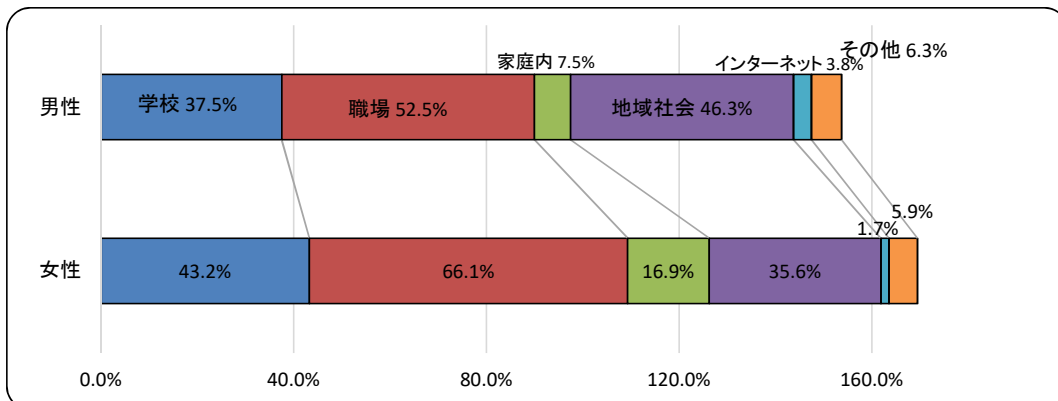
問5-2 その人権侵害はどこでありましたか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)



人権侵害がどこであったかという問では「職場」が最も多く60.4%、次いで「学校」42.9%、「地域社会」40.1%、などの順となっている。(複数回答、上位3項目)

※男女の回答

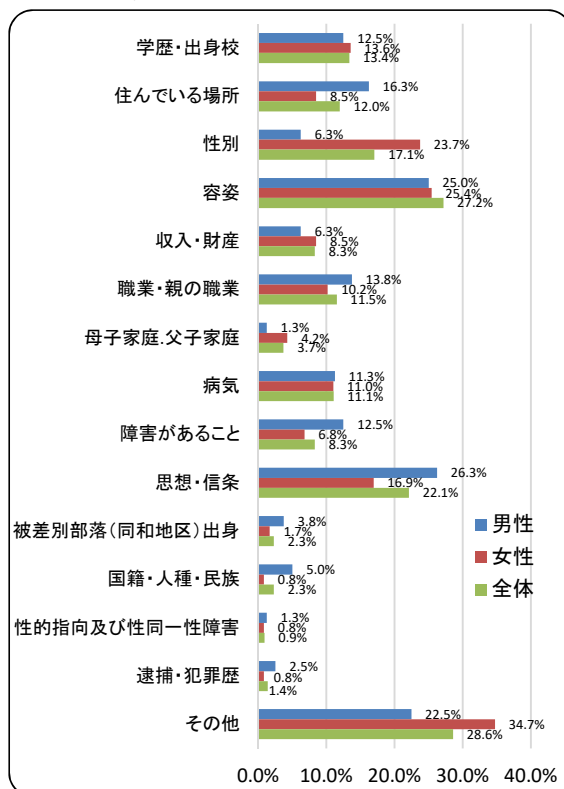


男女別では、「家庭内」を挙げた女性の割合が16.9%と男性の7.5%の2.3倍となっている。また、「インターネット」を挙げた男性の割合が3.8%と女性の1.7%の2.2倍となっている。

問5-3 それは、どのような理由による人権侵害ですか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



どのような理由による人権侵害なのかについては、「その他」を挙げた人の割合が最も高く28.6%、以下「容姿」27.2%、「思想・信条」22.1%、「性別」17.1%、「学歴・出身校」13.4%の順となっている。(複数回答、上位5項目)
男女との比較では、「性別」が17.5ポイント女性の方が高く、「思想・信条」は男性の方が9.3ポイント高い。最も多い「その他」の記載内容は下記のとおり。

人権侵害の理由

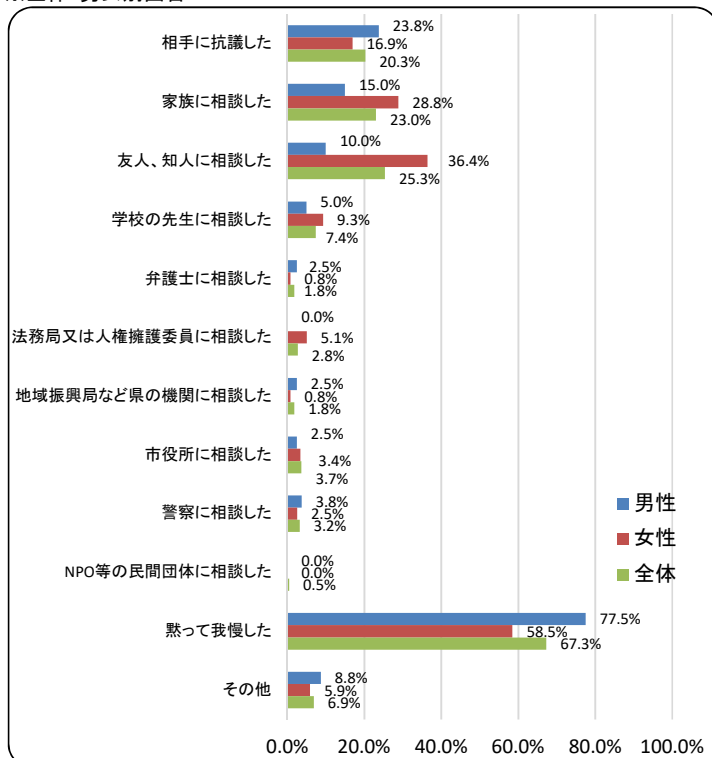
(その他)の記述内容

- ・貧困
- ・ねたみ
- ・能力の優劣
- ・ゆとり世代だからできない。
- ・若いからこれくらいできて当然。
- ・高齢者あつかい
- ・個人的な好き嫌いで
- ・産休に対する上司の発言 など

問5-4 そのとき、どのような対応をしましたか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



人権侵害を受けた時の対応として「黙って我慢した」と回答した人の割合は男女共に高い。女性は「友人、知人に相談した」、次いで「家族に相談した」の割合が男性より高く、男性は女性に比べると「相手に抗議した」、「法務局又は人権擁護委員に相談した」などの割合が高い。

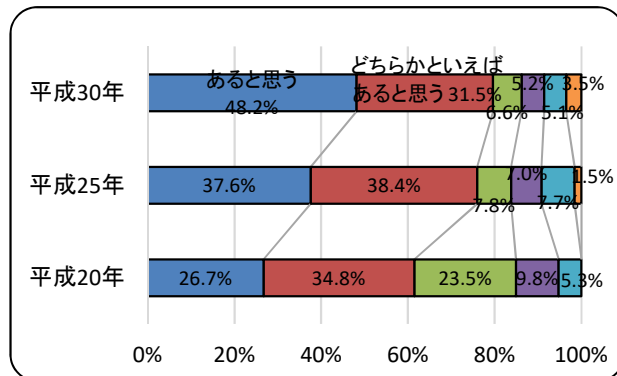
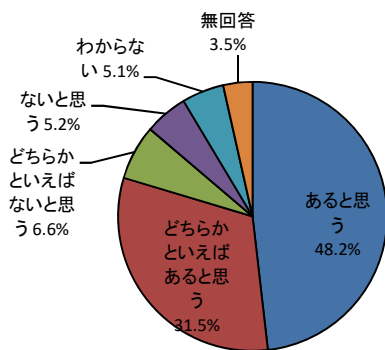
Ⅲ 主な人権課題に関する意識について

問6 あなたは、社会で女性に対する差別・偏見はあると思いますか。

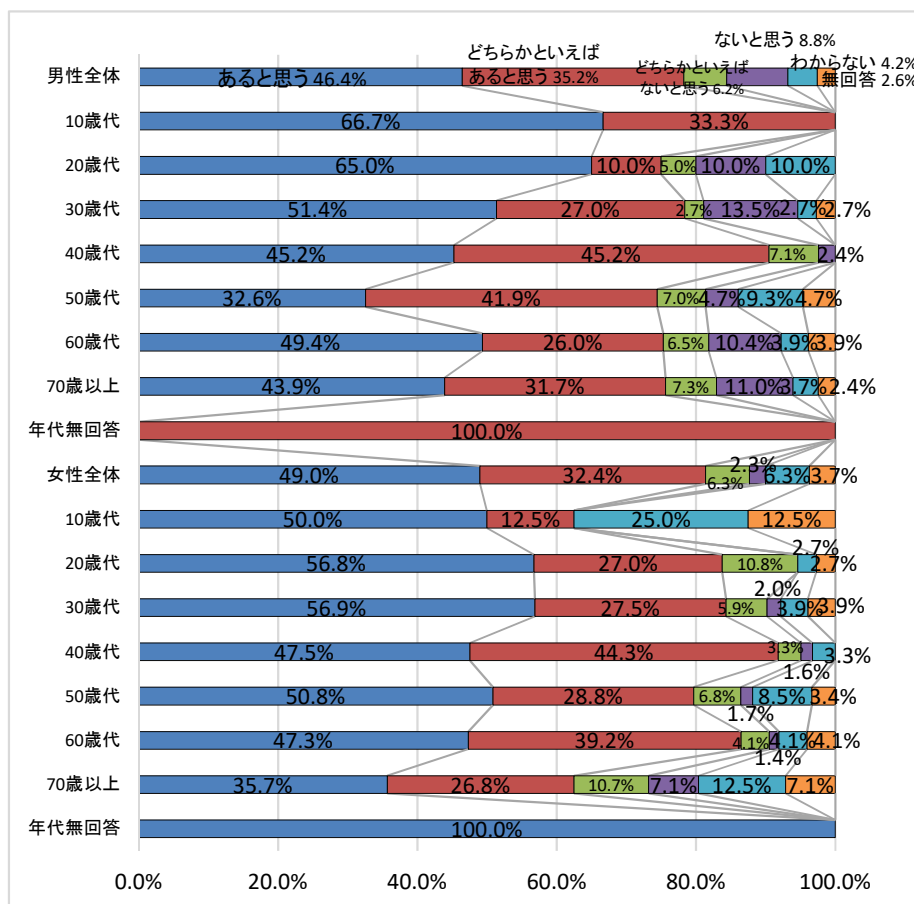
(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答

※過去調査との比較



※男女別・年代別

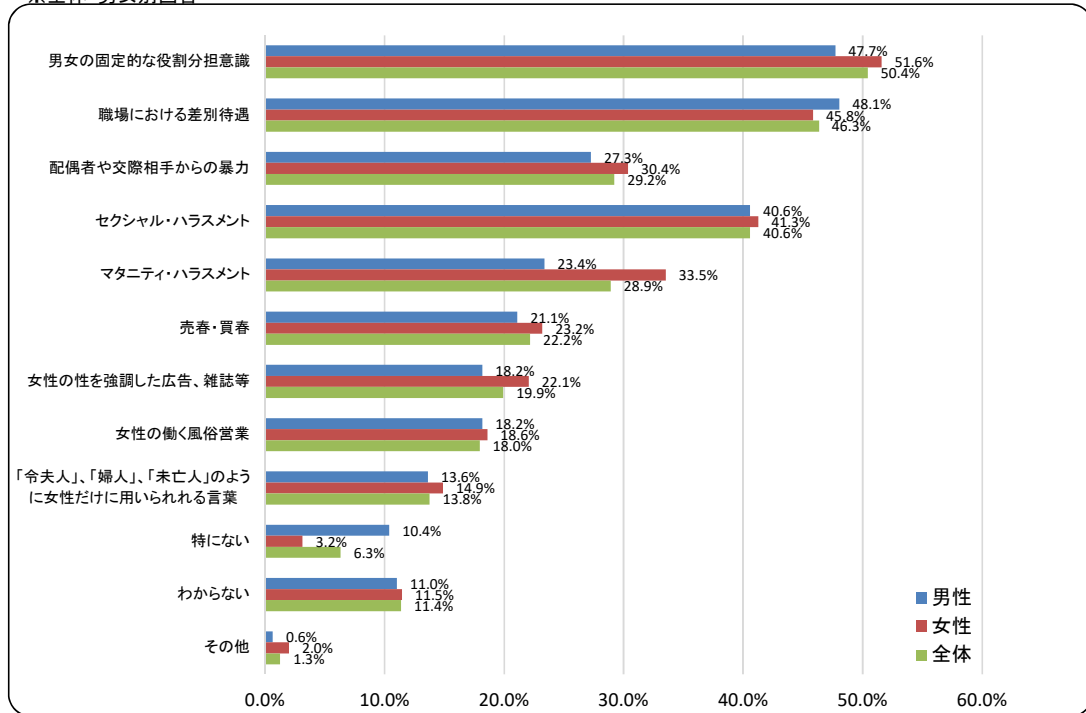


女性に対する差別・偏見については、「ある」が48.2%、「どちらかといえばある」が31.5%で両方あわせて約8割の人が「ある」と回答している。前回の調査と比較すると、3.7ポイント高くなっている。

問6-1 あなたは、女性に関することからで、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

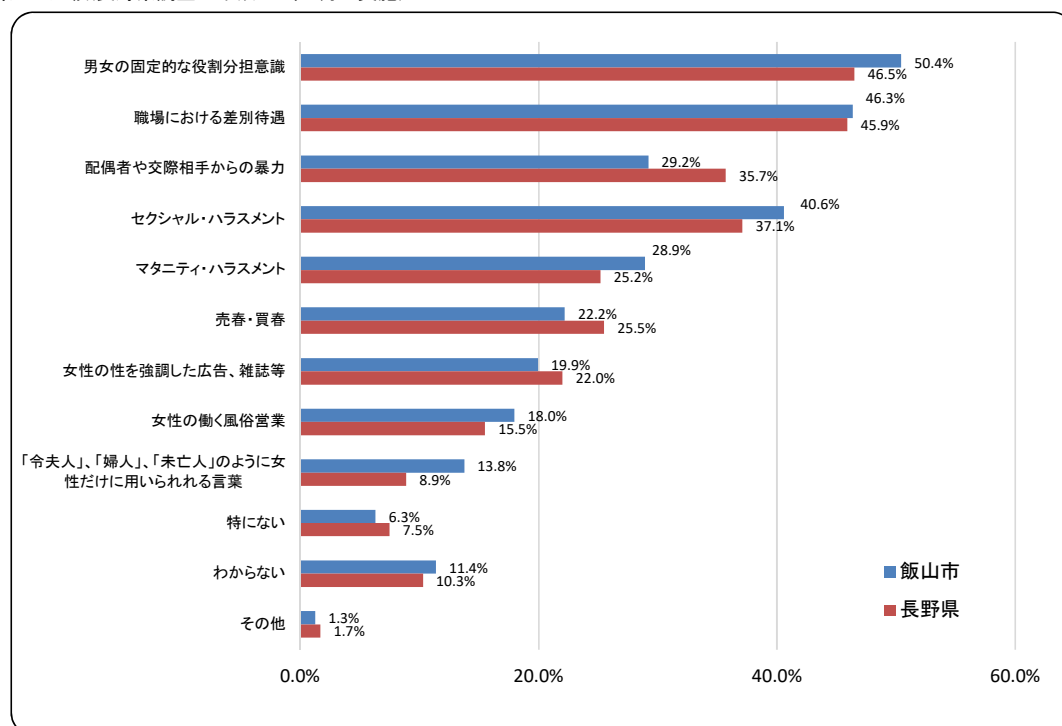
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



女性に関して起きている人権問題については、「男女の固定的な役割分担意識」が最も高く50.4%、以下「職場における差別待遇」46.3%、「セクシャル・ハラスメント」40.6%、「配偶者や交際相手からの暴力」29.2%などの順となっている。（複数回答、上位4項目）男女別に見ると「マタニティ・ハラスメント」を挙げた女性の割合が33.5%に対し、男性23.4%と男女の認識の差が見てとれる。

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)

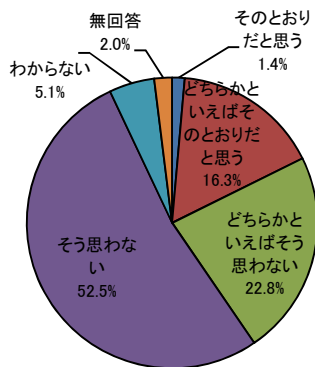


長野県との比較では「固定的役割分担」が3.9ポイント、「女性だけの言葉」が4.9ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「配偶者や交際相手からの暴力」は6.5ポイント長野県より低い。

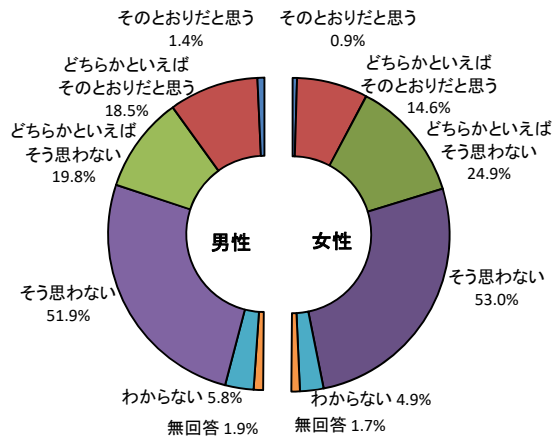
問6-2 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考えについてどう思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

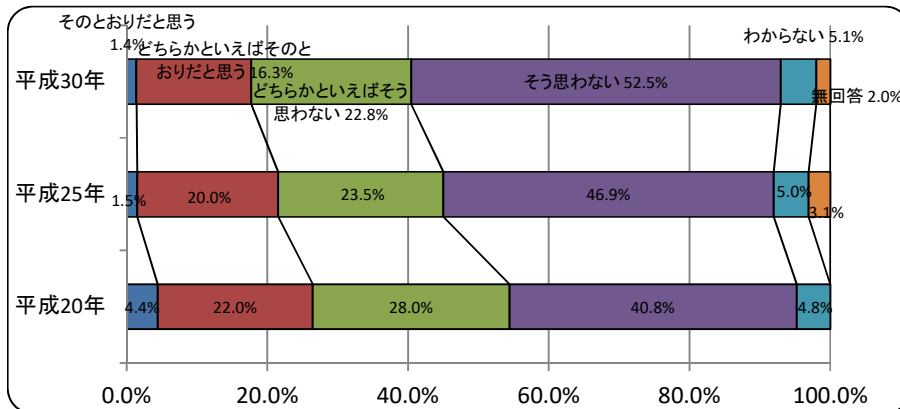
※全体の回答



※男女別の回答



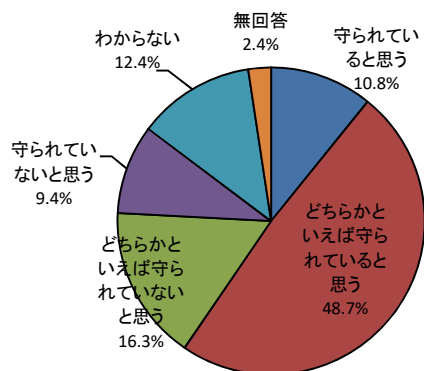
※過去調査との比較



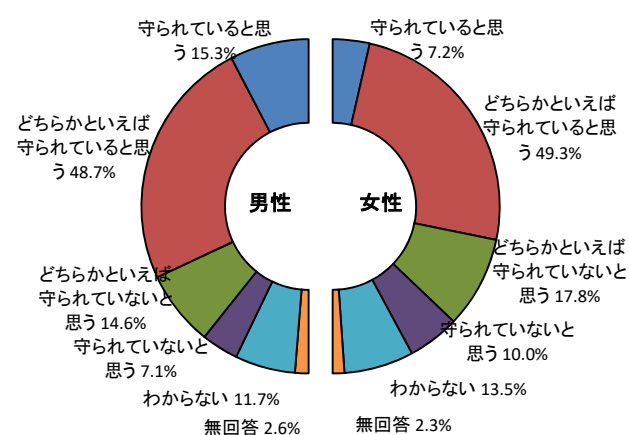
「男は仕事、女は家庭」という考え方については「そう思わない」52.5%、「どちらかといえばそう思わない」22.8%で、両方あわせると75.3%の人は男は仕事、女は家庭という考え方はないと答えている。男女別の回答では女性は「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人が男性より高いが、あまり差は見られない。前回との比較では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人が4.9ポイント増加している。「そのとおりだと思う」「どちらかといえばそのとおりだと思う」と答えた人が3.8ポイント減少している。

問7 あなたは、社会で子どもの人権が守られていると思いますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

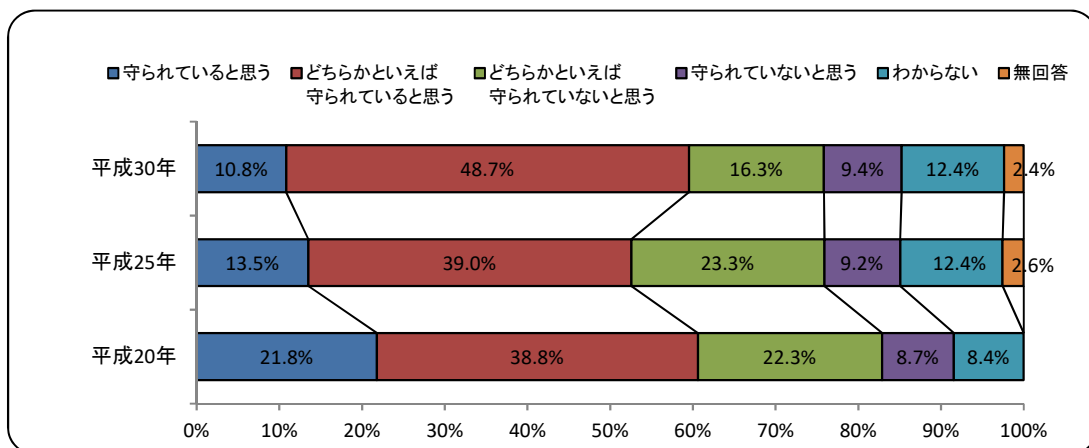
※全体の回答



※男女別回答



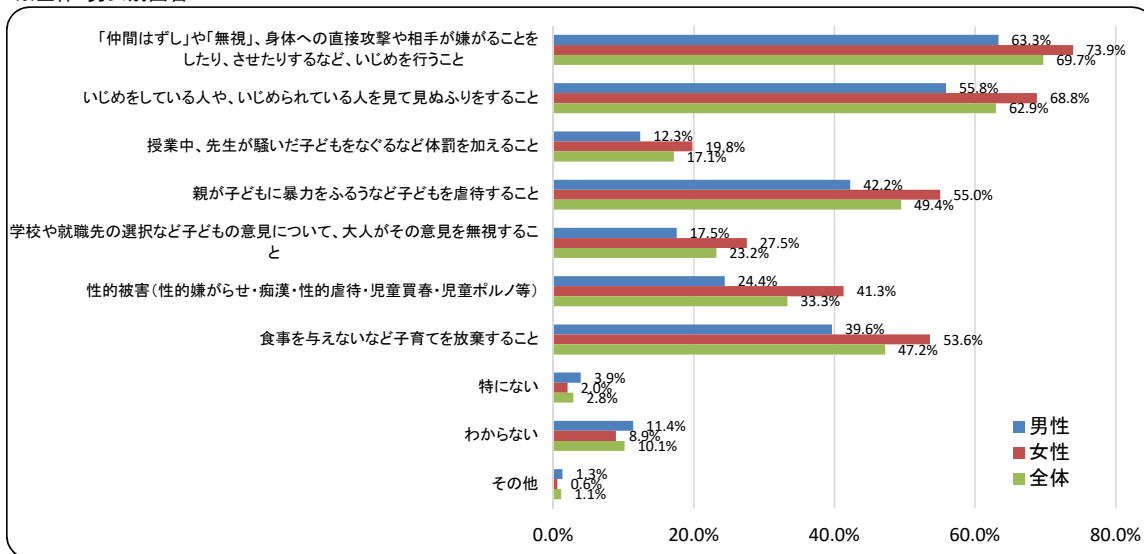
※過去調査との比較



子どもの人権が守られているかとの問いについては、「守られている」10.8%「どちらかといえば守られている」48.7%で、両方あわせると59.5%の人が「守られている」と答えている。男女別の回答では女性は男性より「守られていない」と答えた人が多い。前回との比較では、「守られている」、「どちらかといえば守られている」と答えた人が7ポイント増加している。「守られていない」、「どちらかといえば守られていない」は6.8ポイント減少している。

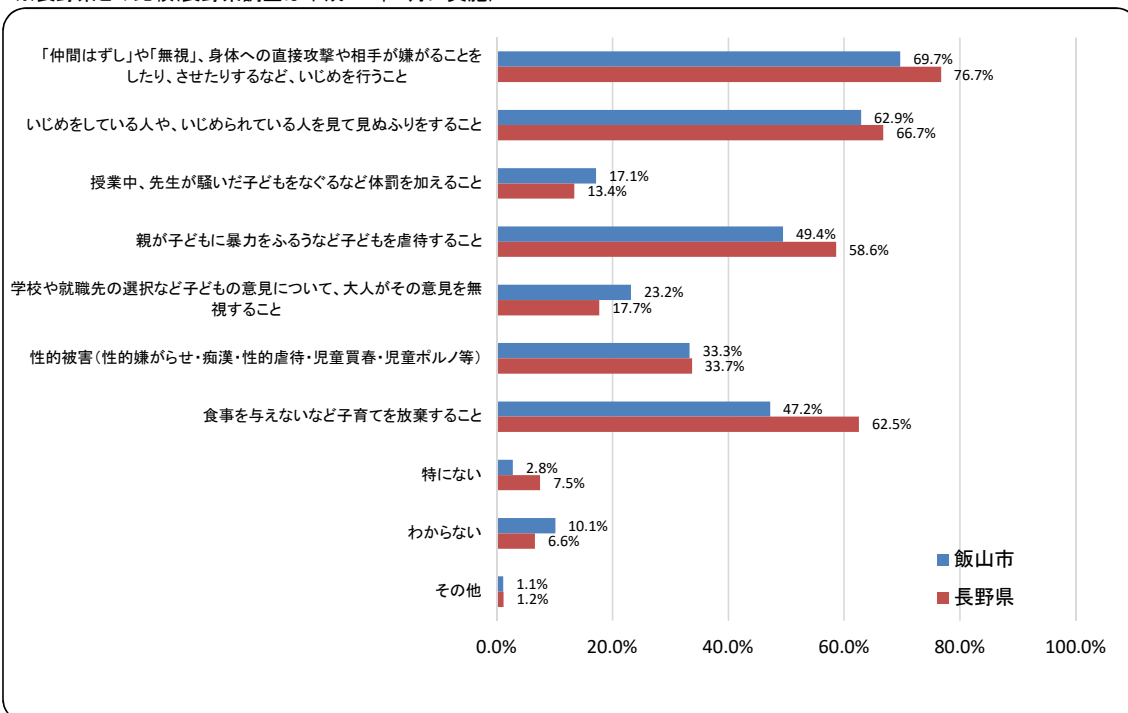
問7-1 あなたは、子どもに関することがらで、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



子どもに関して起きている人権問題については、『「仲間はずし」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行うこと』を挙げた人の割合が69.7%と最も高く、以下、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」62.9%、「親が子どもに暴力をふるうなど子どもを虐待すること」49.4%、「食事を与えないなど子育てを放棄すること」47.2%などの順となっている。(複数回答、上位4項目) 男女別の回答では女性の割合が全部の設問において男性より高くなっている。

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)

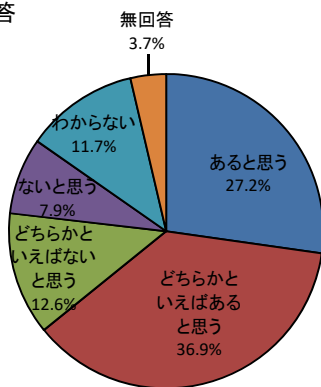


長野県との比較では「意見無視」が5.5ポイント、「体罰」が3.7ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「子育て放棄」は15.3ポイント、「虐待」が9.2ポイント長野県より低い。

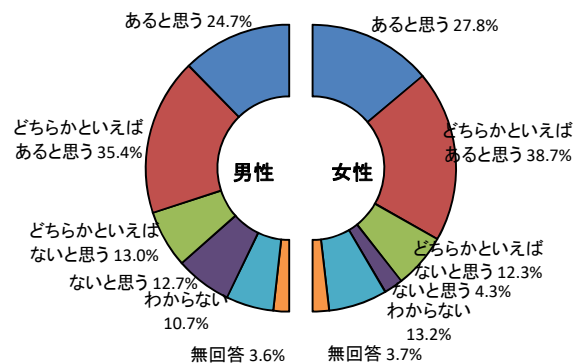
問8 あなたは、社会で高齢者に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

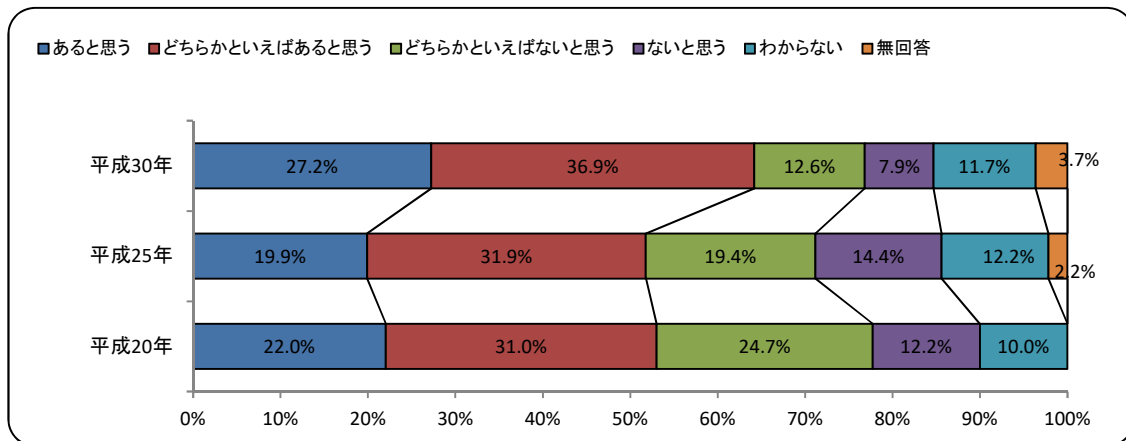
※全体の回答



※男女別



※過去調査との比較

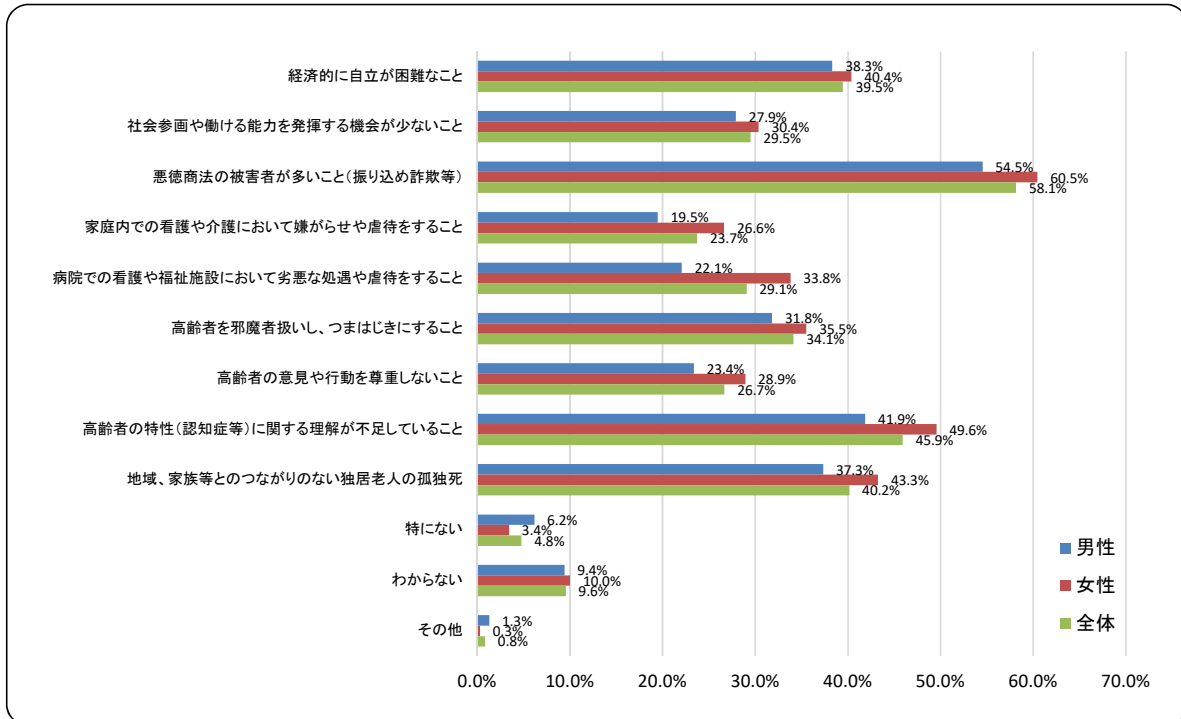


高齢者に対する差別・偏見については「ある」27.2%、「どちらかといえばある」36.9%で両方あわせると64.1%の人が「ある」と回答している。男女別の回答では男性は60.1%、女性は66.5%で女性の割合が高い。また、前回の調査と比較すると、「あると思う」「どちらかといえばあると思う」が12.3ポイント増加し、「ないと思う」「どちらかといえばないと思う」は13.3ポイントの減少となった。

問8-1 あなたは、高齢者に関することからで、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

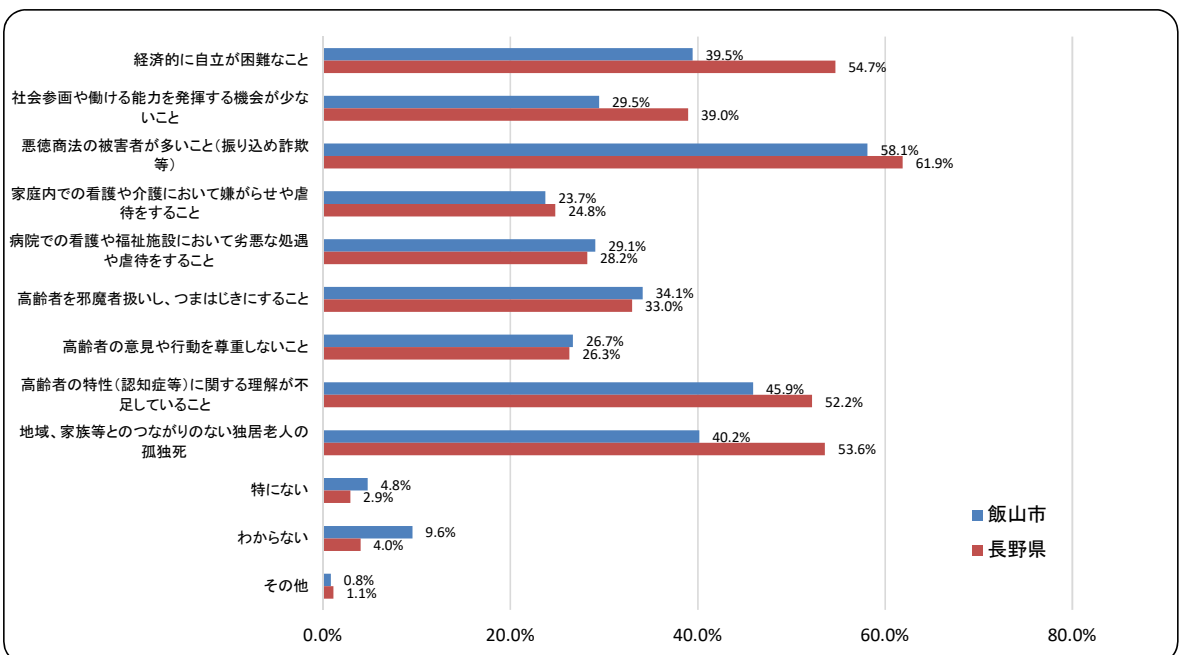
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



高齢者に関して起きている人権問題については、「悪徳商法の被害者が多いこと(振り込め詐欺等)」を挙げた人の割合が58.1%と最も高く、以下「高齢者の特性(認知症等)に関する理解が不足していること」45.9%、「地域、家族等とのつながりのない独居老人の孤独死」40.2%、「経済的に自立が困難なこと」39.5%、「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」34.1%の順となっている。男女別の回答では女性の割合が全ての設問において男性より高くなっている。

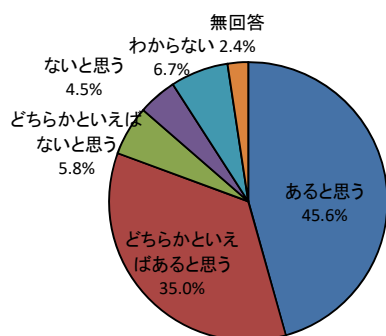
※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)



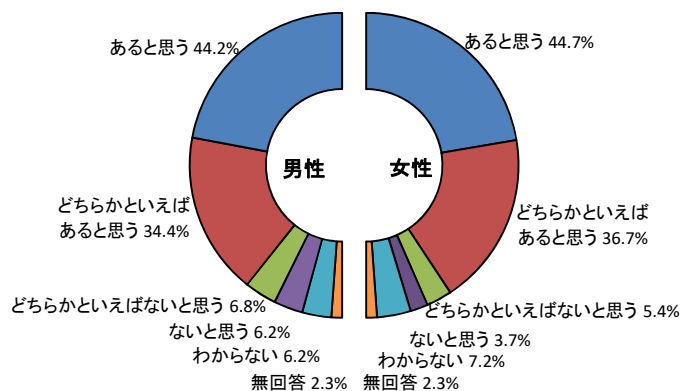
長野県との比較では「つまはじき」が1.1ポイント高くなっている。一方、「経済的自立困難」は15.2ポイント、「独居老人孤独死」が13.4ポイント長野県より低い。

問9 あなたは、社会で障がいのある人に対する差別・偏見があると思いますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

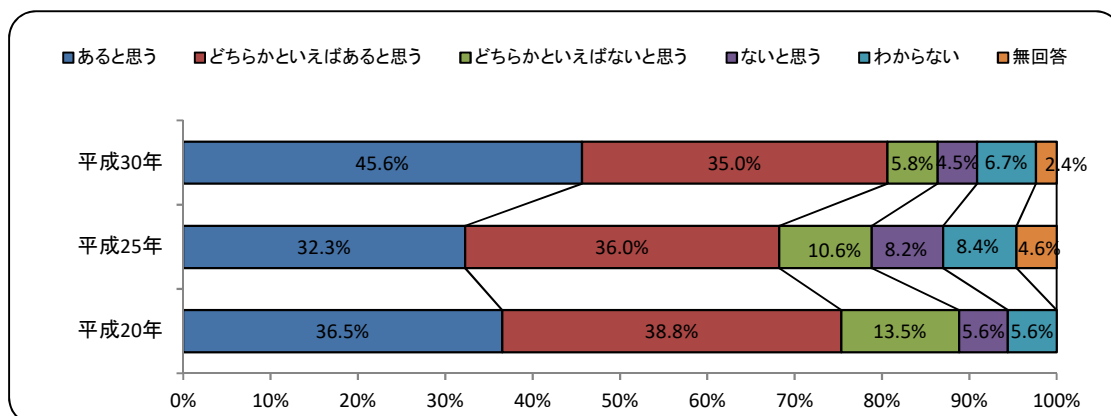
※全体の回答



※男女別



※過去調査との比較

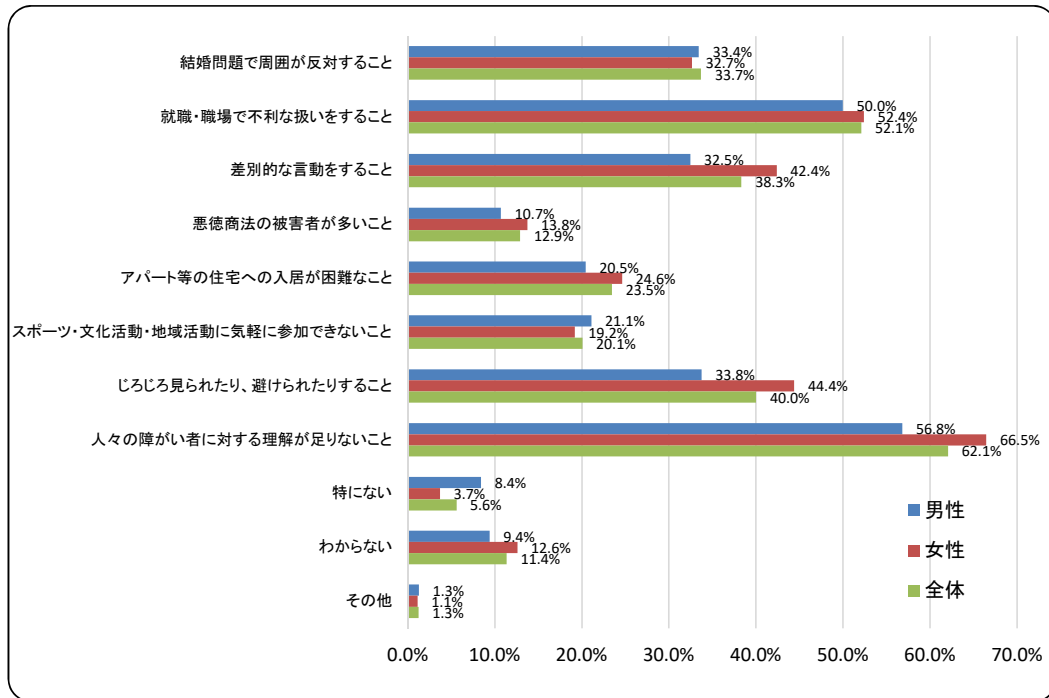


障がいのある人に対する差別・偏見については「ある」45.6%、「どちらかといえばある」35.0%で、両方あわせると80.6%の人が「ある」と答えている。男女別の回答では「ある」「どちらかといえばある」と答えた女性の割合はやや高くなっている。前回調査と比較すると、「あると思う」が13.3ポイント増加、「どちらかといえばあると思う」は1ポイント減少し、両方あわせて12.3ポイント増加している。

問9-1 あなたは、障がい者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

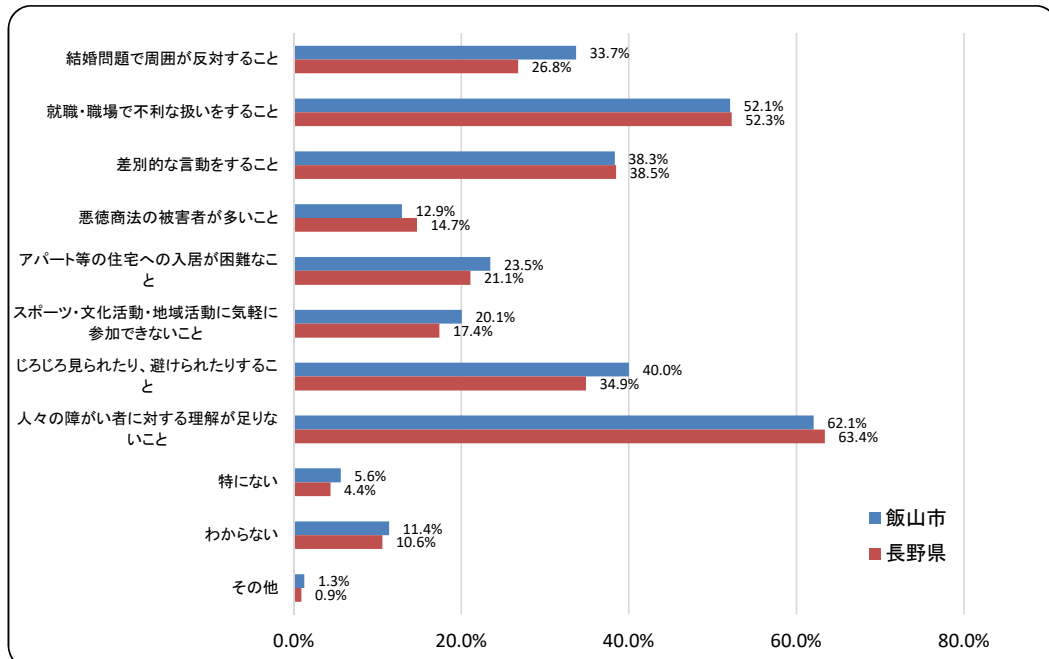
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



障がい者に関して起きている人権問題については、「人々の障がい者に対する理解が足りないこと」を挙げた人の割合が62.1%と最も高く、以下「就職・職場で不利な扱いをすること」52.1%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」40%、「差別的な言動をすること」38.3%の順となっている。男女別で見ると、「人々の障がい者に対する理解が足りないこと」、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」、「差別的な言動をすること」を挙げた女性の割合は男性より高くなっている。

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)

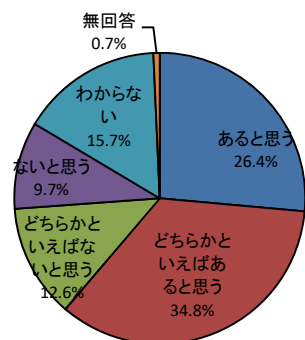


長野県との比較では「結婚問題」が6.9ポイント、「じろじろ見る」が5.1ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「悪徳商法被害」は1.8ポイント、「障害理解不足」が1.3ポイント長野県より低い。

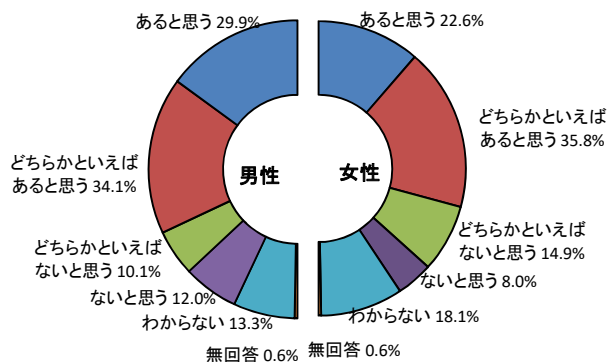
問10 あなたは、日本に居住している外国人に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

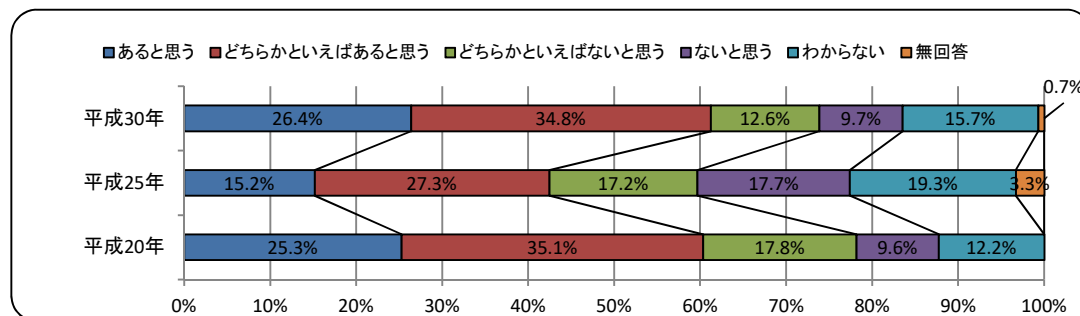
※全体の回答



※男女別



※過去調査との比較

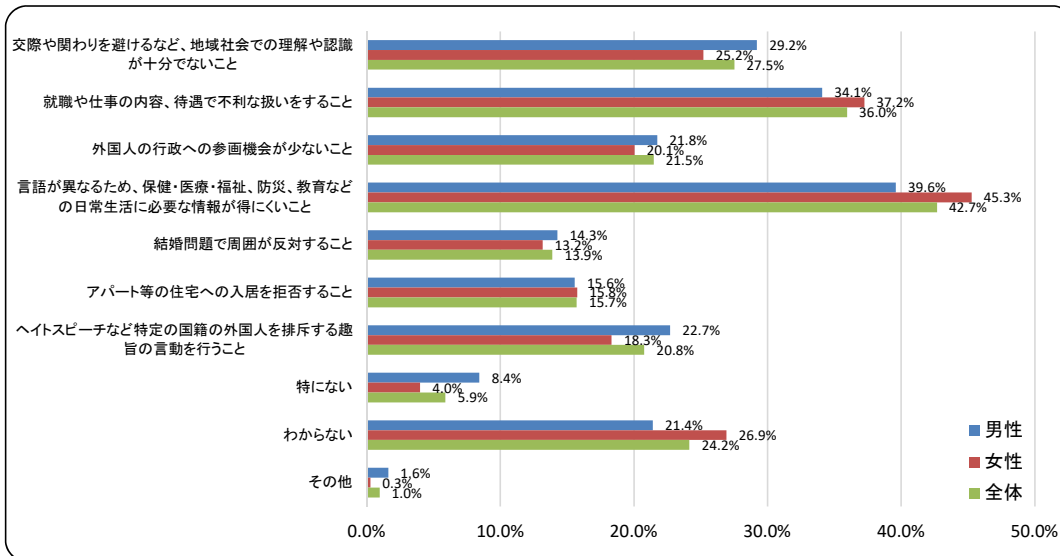


外国人に対する差別・偏見については「ある」26.4%、「どちらかといえばある」34.8%で、両方あわせると61.2%「ある」と答えている。前回調査と比較すると、「あると思う」が11.2ポイント増加、「どちらかといえばあると思う」も7.5ポイント増加し、合計すると18.7ポイント増加している。

問10-1 日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

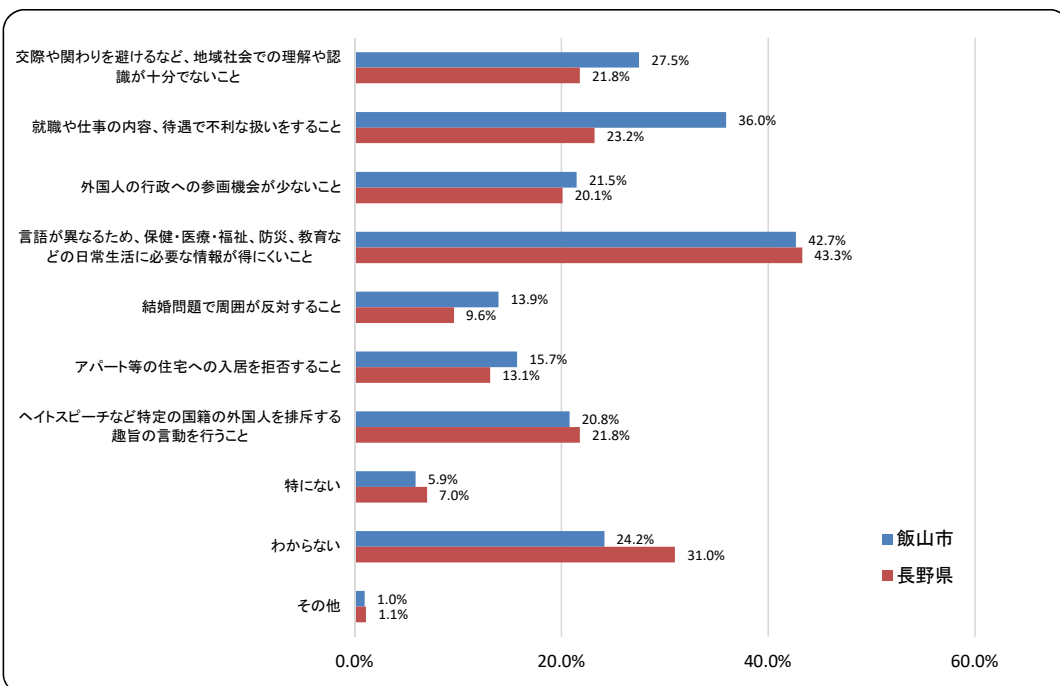
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



外国人に起きている人権問題については、「言語が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」を挙げた人の割合が42.7%と最も高く、以下、「就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いをすること」36.0%、「交際や関わりを避けるなど、地域社会での理解や認識が十分でないこと」27.5%の順となっている。(複数回答、上位3項目) 男女別に見ると、「交際や関わりを避けるなど、地域社会での理解や認識が十分でないこと」、「ヘイトスピーチなど特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動を行うこと」を挙げた男性の割合が女性より高く、「言語が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」を挙げた女性の割合が男性より高くなっている。

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)

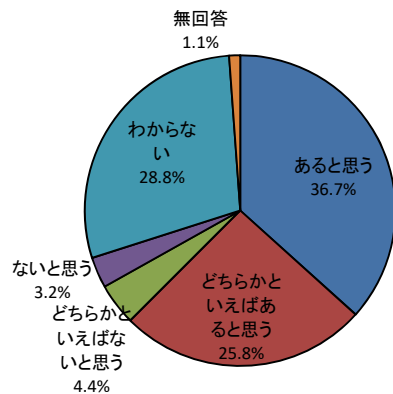


長野県との比較では「就職・職場の不利」が12.8ポイント、「社会理解不十分」が5.7ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「ヘイトスピーチ」は1ポイント長野県より低い。

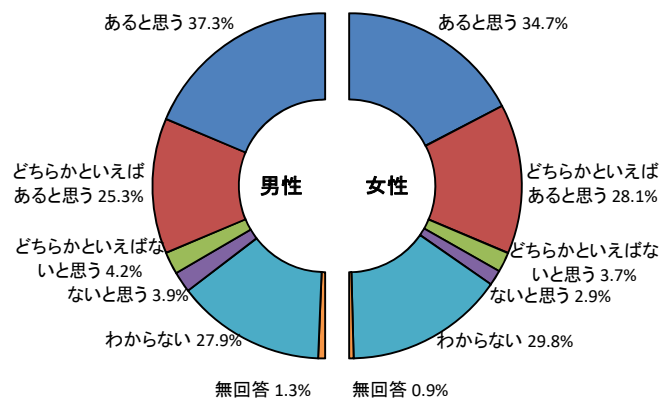
問11 あなたは、HIV(エイズウィルス)感染者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

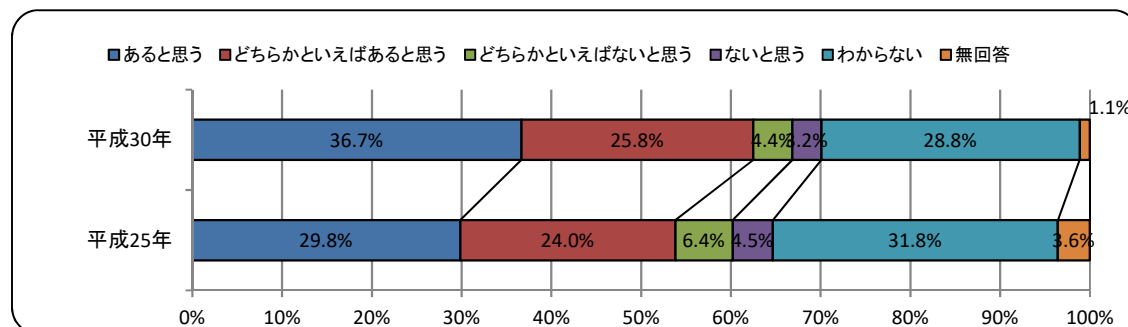
※全体の回答



※男女別



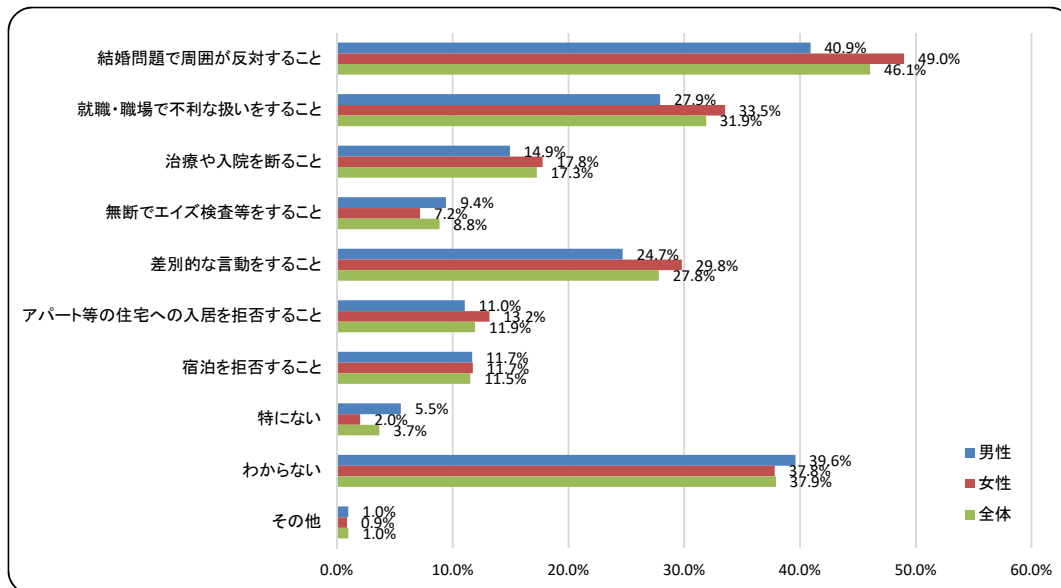
※過去調査との比較



HIV(エイズウィルス)感染者やその家族に対する差別・偏見については「ある」36.7%、「どちらかといえばある」25.8%で、両方あわせると62.5%の人が「ある」と回答している。また28.8%の人が「わからない」と回答している。前回調査と比較すると、「あると思う」が6.9ポイント増加、「どちらかといえばあると思う」も1.8ポイント増加し、合計すると8.7ポイント増加している。

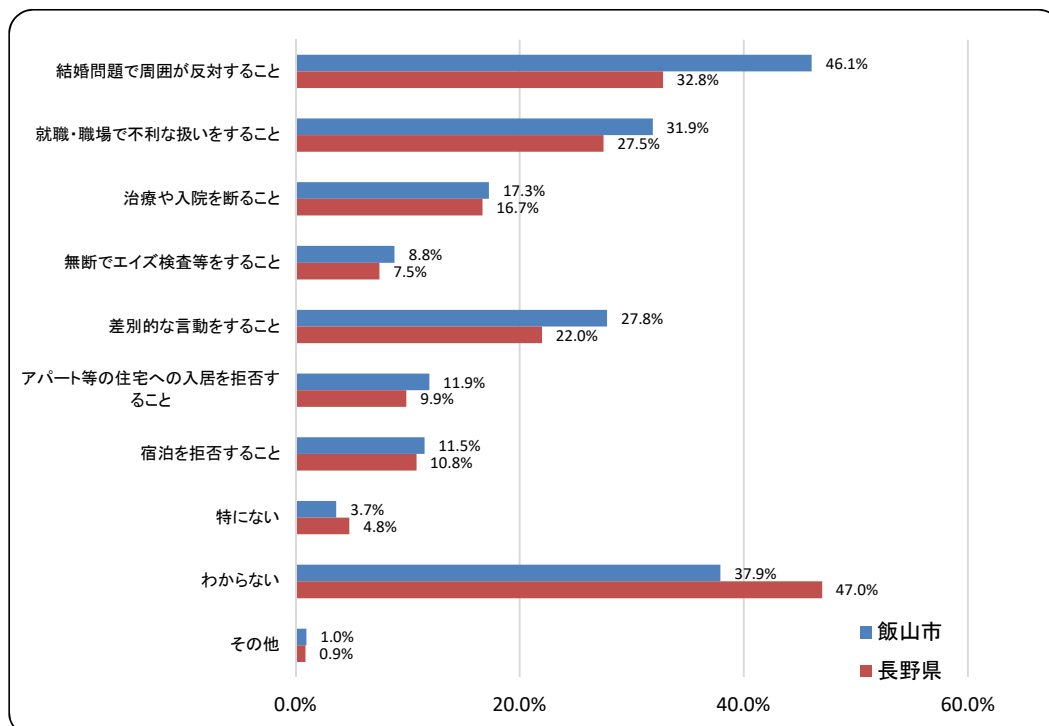
問11-1 あなたは、HIV(エイズウイルス)感染者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



HIV(エイズウイルス)感染者やその家族に起きている人権問題については、「結婚問題で周囲が反対すること」が46.1%と最も高く、以下、「わからない」が37.9%、「就職・職場で不利な扱いをすること」31.9%、「差別的な言動をすること」27.8%の順となっている。(複数回答、上位4項目)

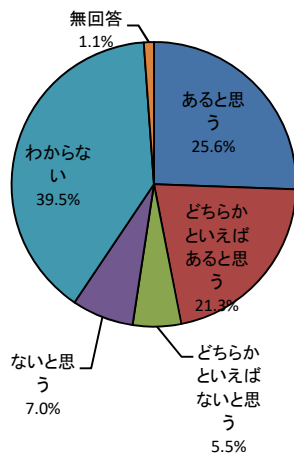
※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)



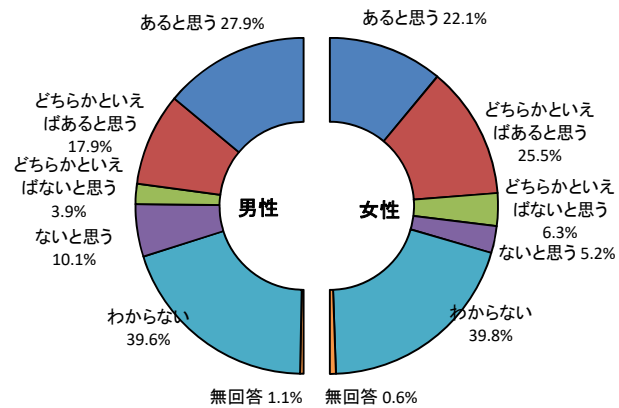
長野県との比較では「結婚問題」が13.3ポイント、「差別的な言動」が5.8ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「わからない」は9.1ポイント長野県より低い。

問12 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

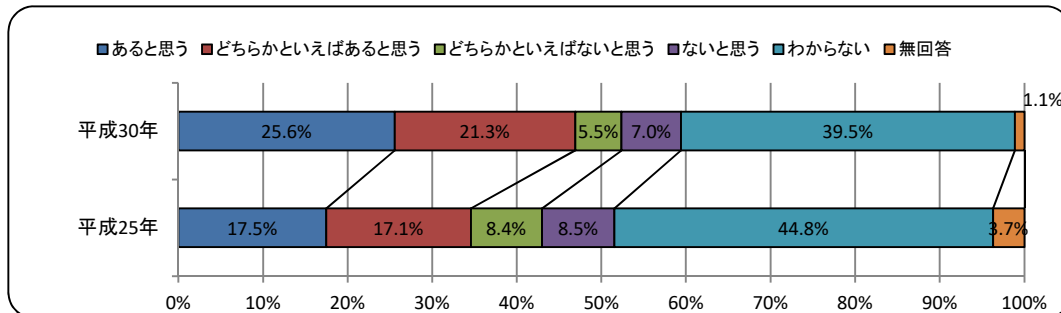
※全体の回答



※男女別



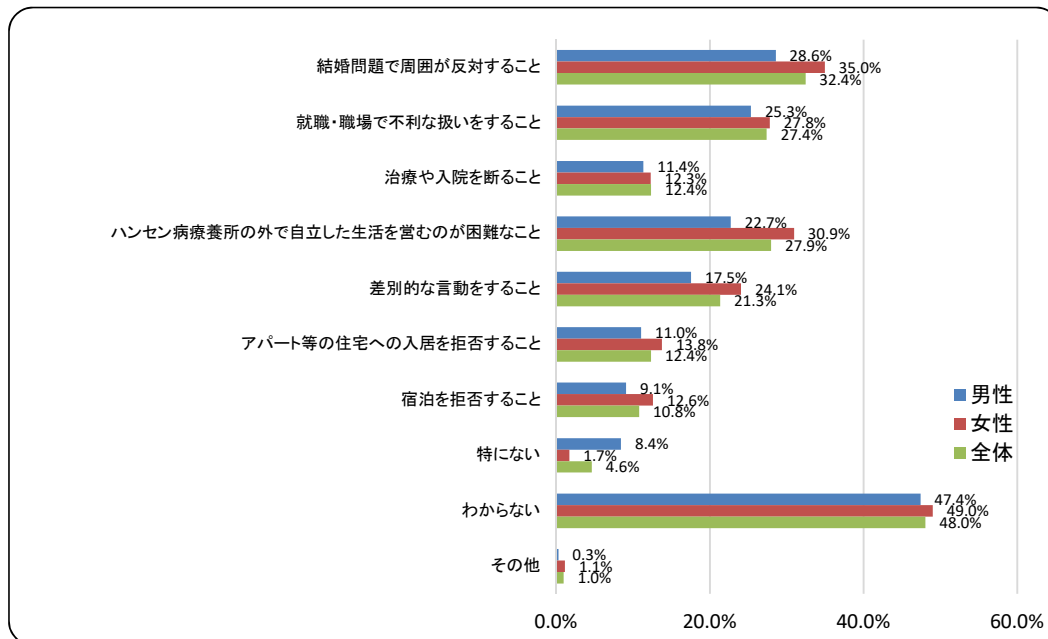
※過去調査との比較



ハンセン病患者・元患者等に対する差別・偏見については、39.5%が「わからない」と回答している。「ある」25.6%、「どちらかといえばある」21.3%で、両方あわせると46.9%の人は「ある」と答えている。前回調査と比較すると、「あると思う」が8.1ポイント増加、「どちらかといえばあると思う」も4.2ポイント増加し、合計すると12.3ポイント増加している。

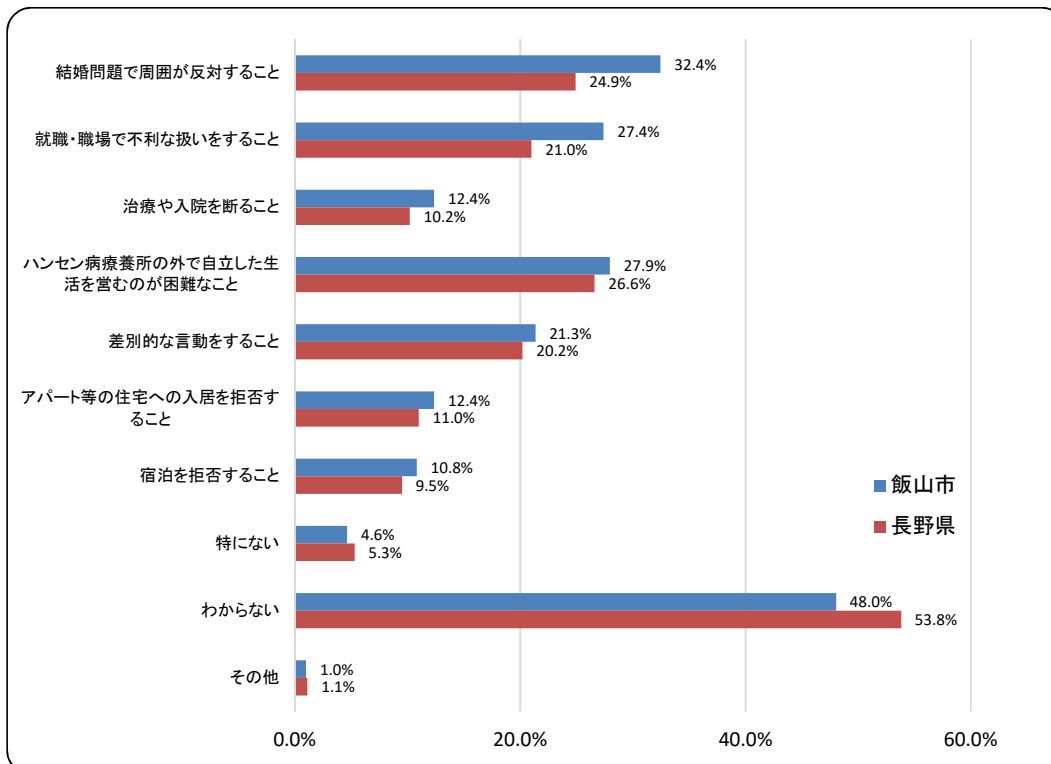
問12-1 現在どのような面にハンセン病患者・元患者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



差別・偏見のある場面については、「わからない」が48%と最も高く、以下「結婚問題で周囲が反対すること」32.4%、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」27.9%などの順となっている。(複数回答、上位3項目)

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)

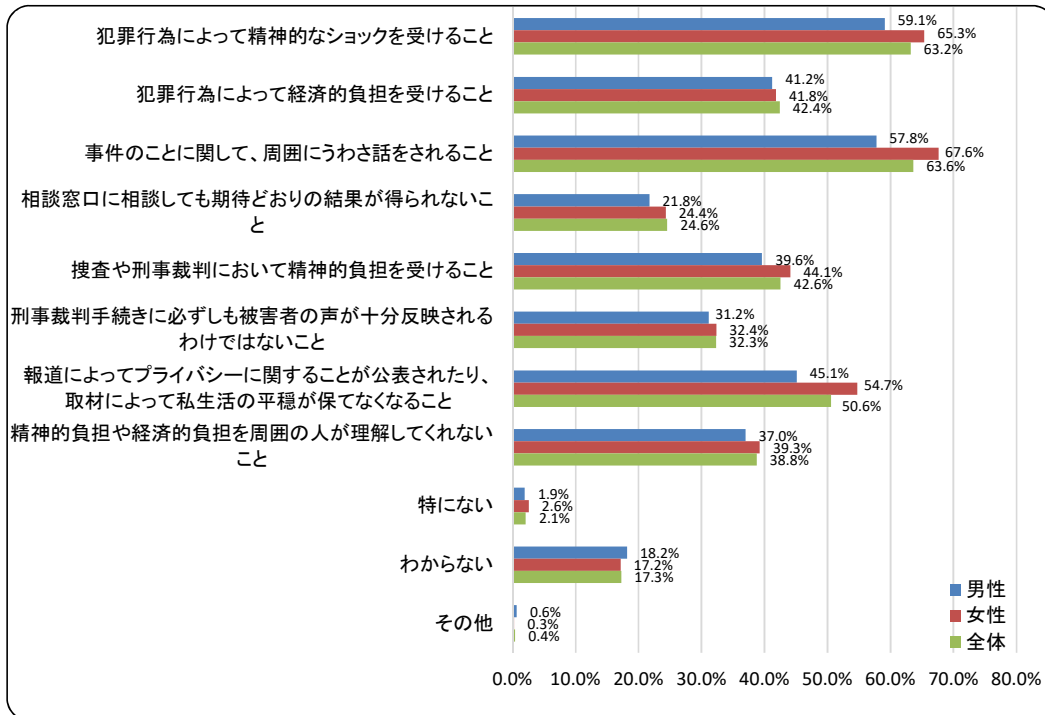


長野県との比較では「結婚問題」が7.5ポイント、「就職・職場の不利」が6.4ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「わからない」は5.8ポイント長野県より低い。

問13 あなたは、犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

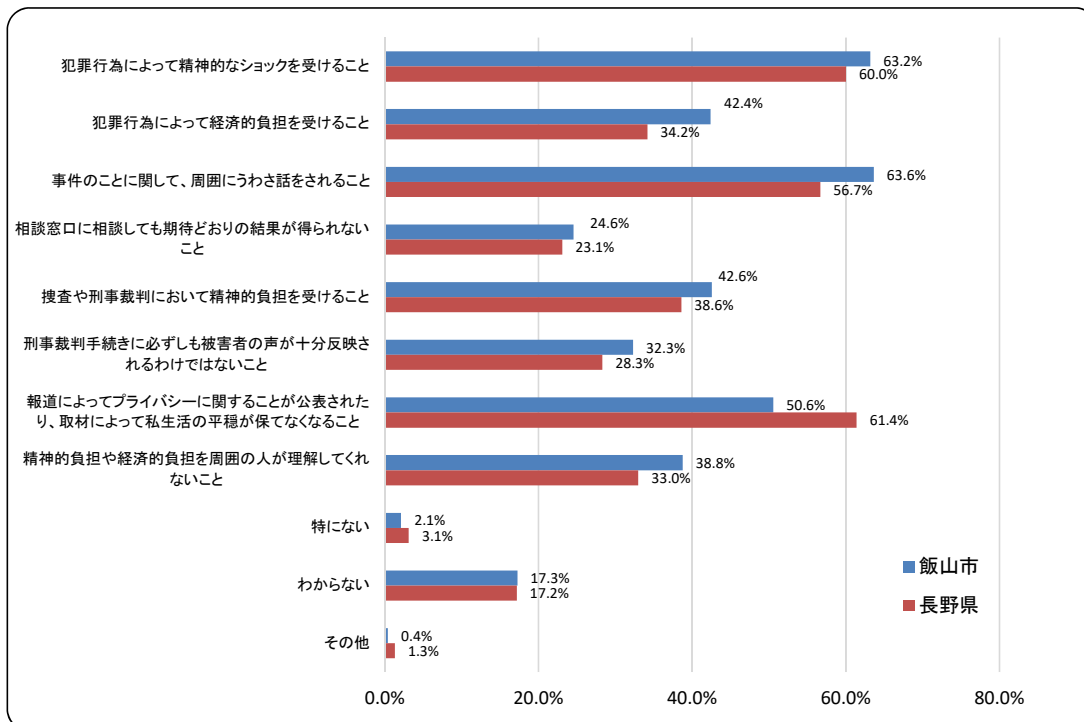
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



犯罪被害者やその家族に関する人権問題として、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」を挙げた人が63.6%と最も高く、以下、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」63.2%、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」50.6%の順となっている。

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)

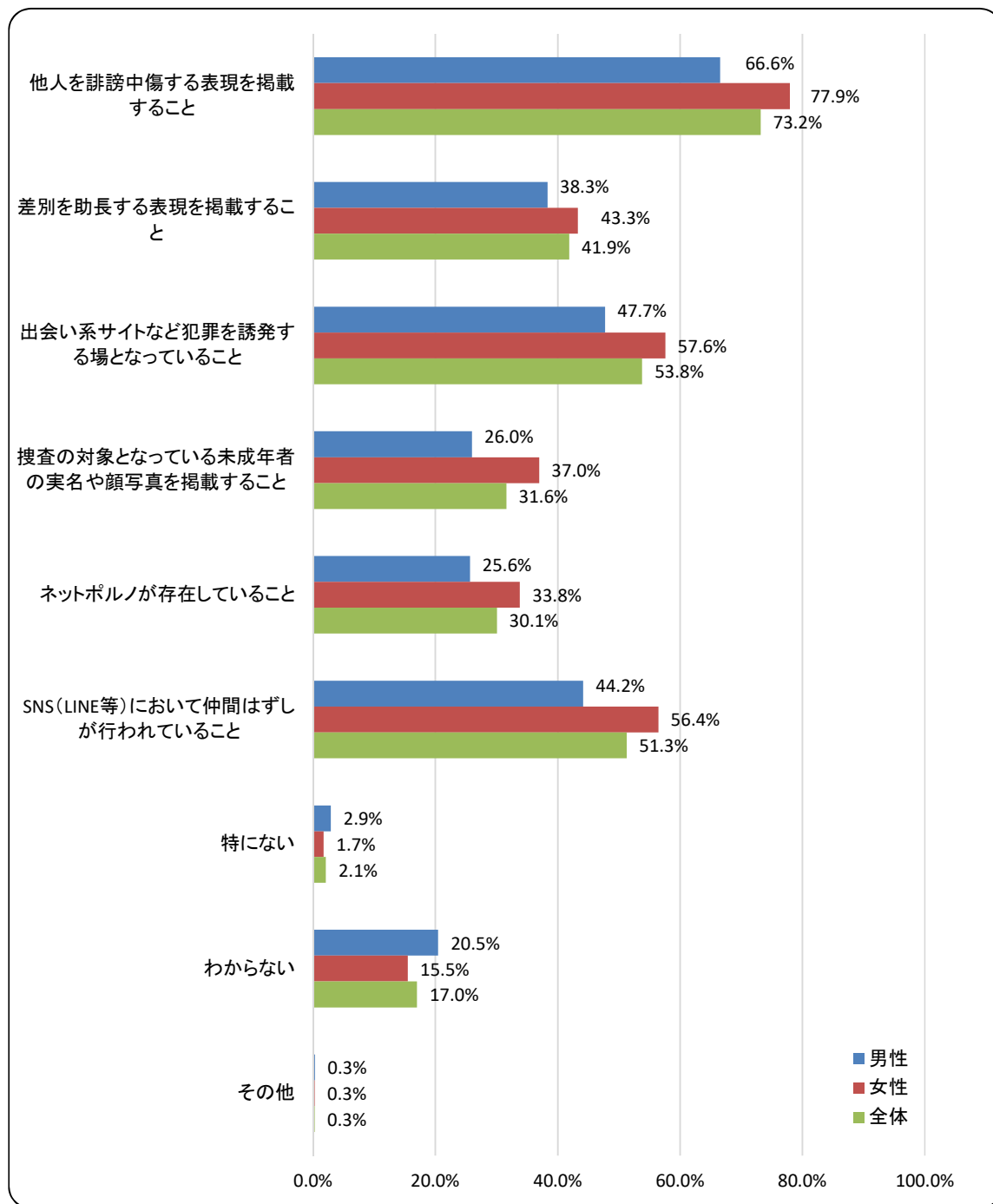


長野県との比較では「経済的負担」が8.2ポイント、「うわさ話」が6.9ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「報道によるプライバシー侵害」は10.8ポイント長野県より低い。

問14 あなたは、インターネットに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答

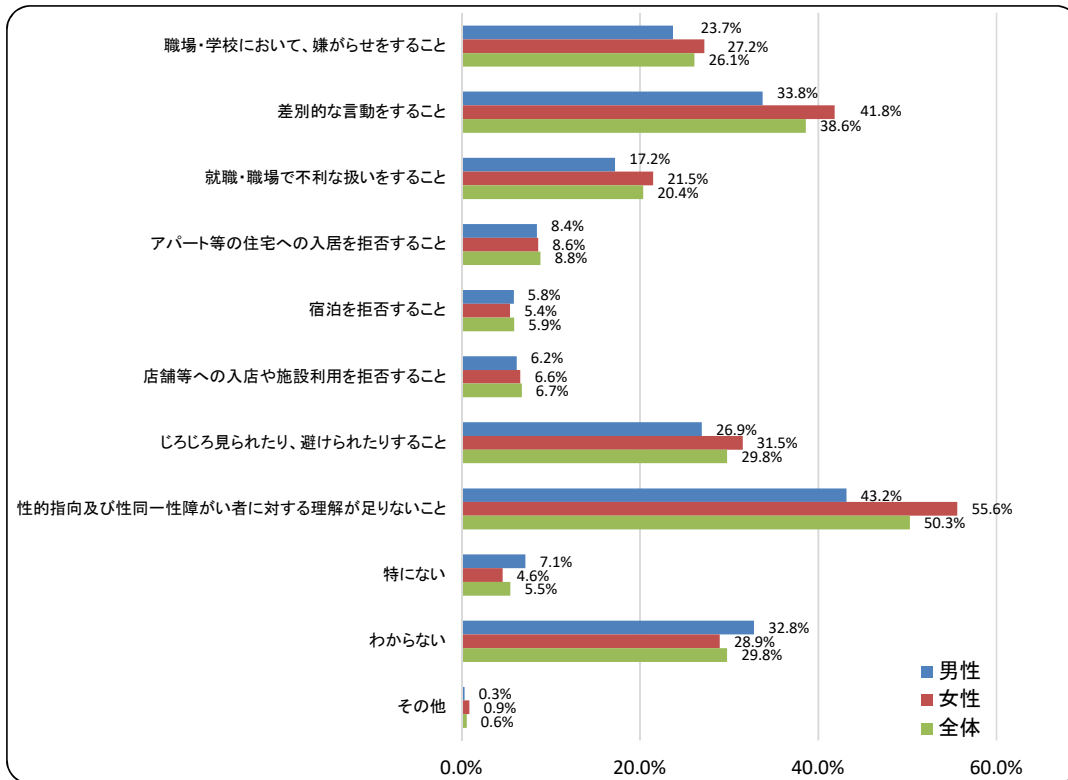


インターネットによる人権侵害に関する問題として「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」を挙げた人の割合が73.2%と最も高く、以下、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」53.8%、「SNS(LINE等)において仲間はずしが行われていること」51.3%、「差別を助長する表現を掲載すること」41.9%、「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること」31.6%の順となっている。女性はこれらの設問についての割合が男性より高くなっている。

問15 あなたは、性的指向(同性愛、両性愛)及び性同一性障がい者(生物学的な性と
こころの性が一致しない者)に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

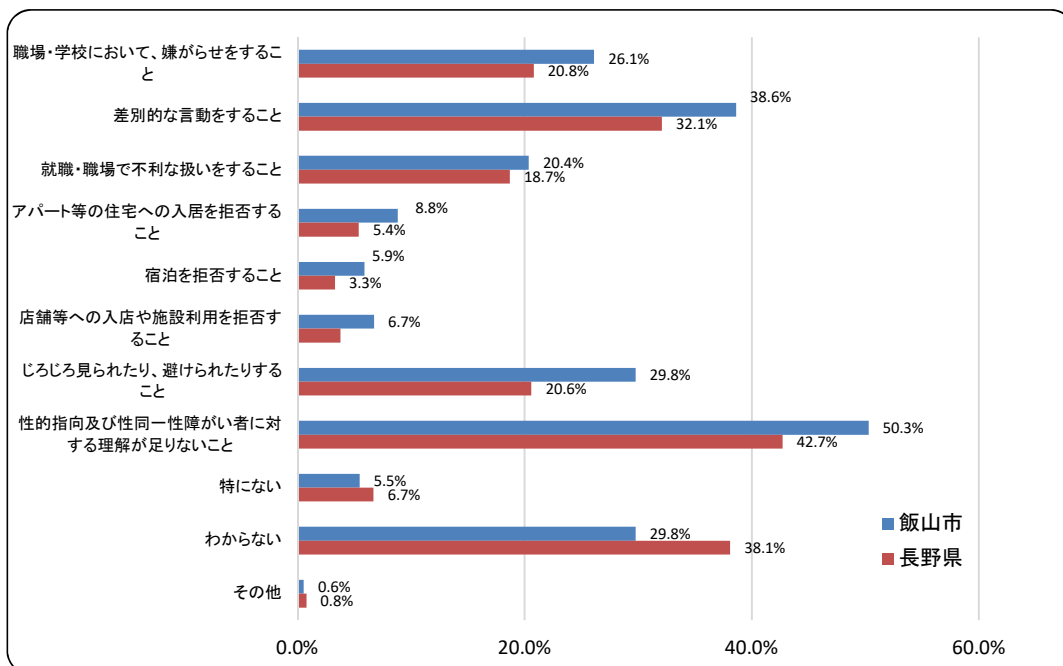
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

※全体・男女別回答



性的指向(同性愛、両性愛)及び性同一性障がい者(生物学的な性とこころの性が一致しない者)に関する問題として「性的指向及び性同一性障がい者に対する理解が足りないこと」を挙げた人の割合が50.3%と最も高く、以下、「差別的な言動をすること」38.6%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」29.8%、「わからない」29.8%、「職場・学校において、嫌がらせをすること」26.1%の順となっている。女性は、これらの設問の割合が「わからない」を除き、男性より高くなっている。

※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)



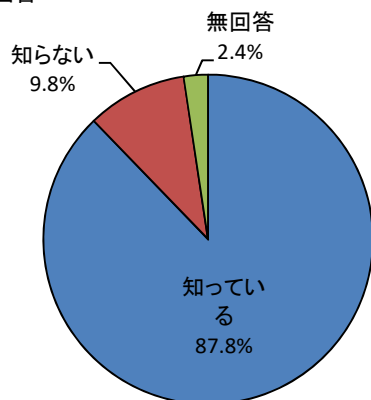
長野県との比較では「じろじろ見る」が9.2ポイント、「理解不足」が7.6ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「わからない」は8.3ポイント長野県より低い。

IV 同和問題(部落差別)に関する意識について

問16 あなたは、同和問題(部落差別)を知っていますか。

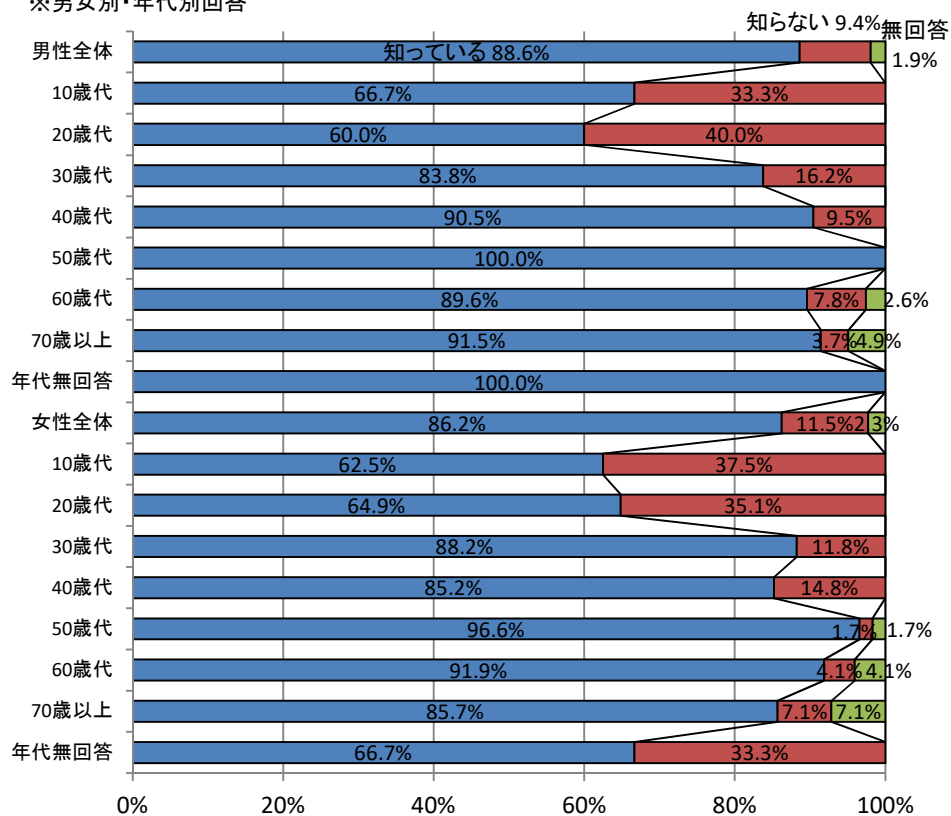
(どちらかに○をつけてください)

※全体の回答

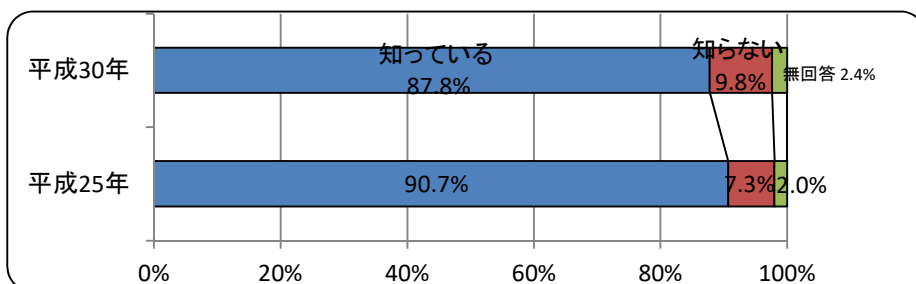


同和問題(部落差別)を知っているのは87.8%である。一方「知らない」と答えたのは9.8%で、そのうち、10歳代、20歳代の割合が高い。

※男女別・年代別回答



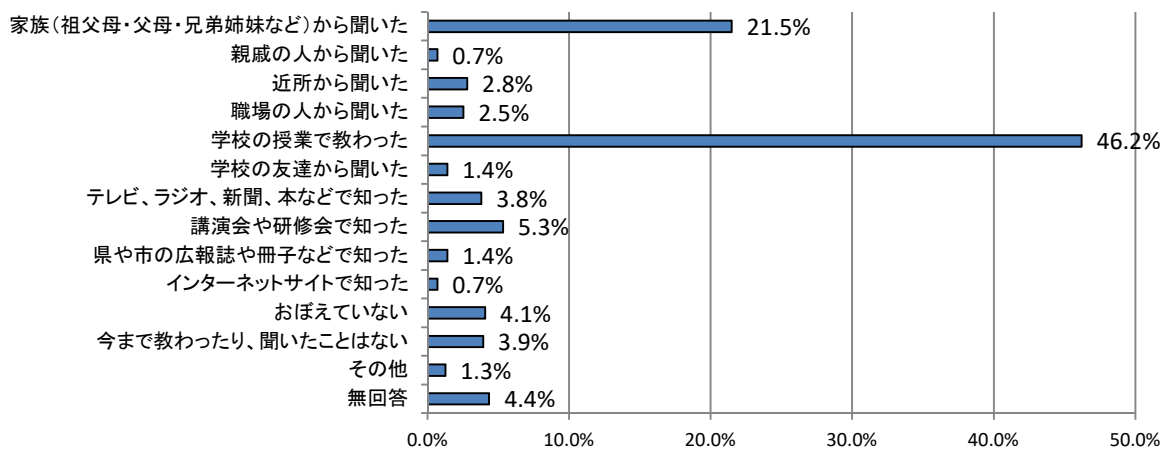
※過去調査との比較



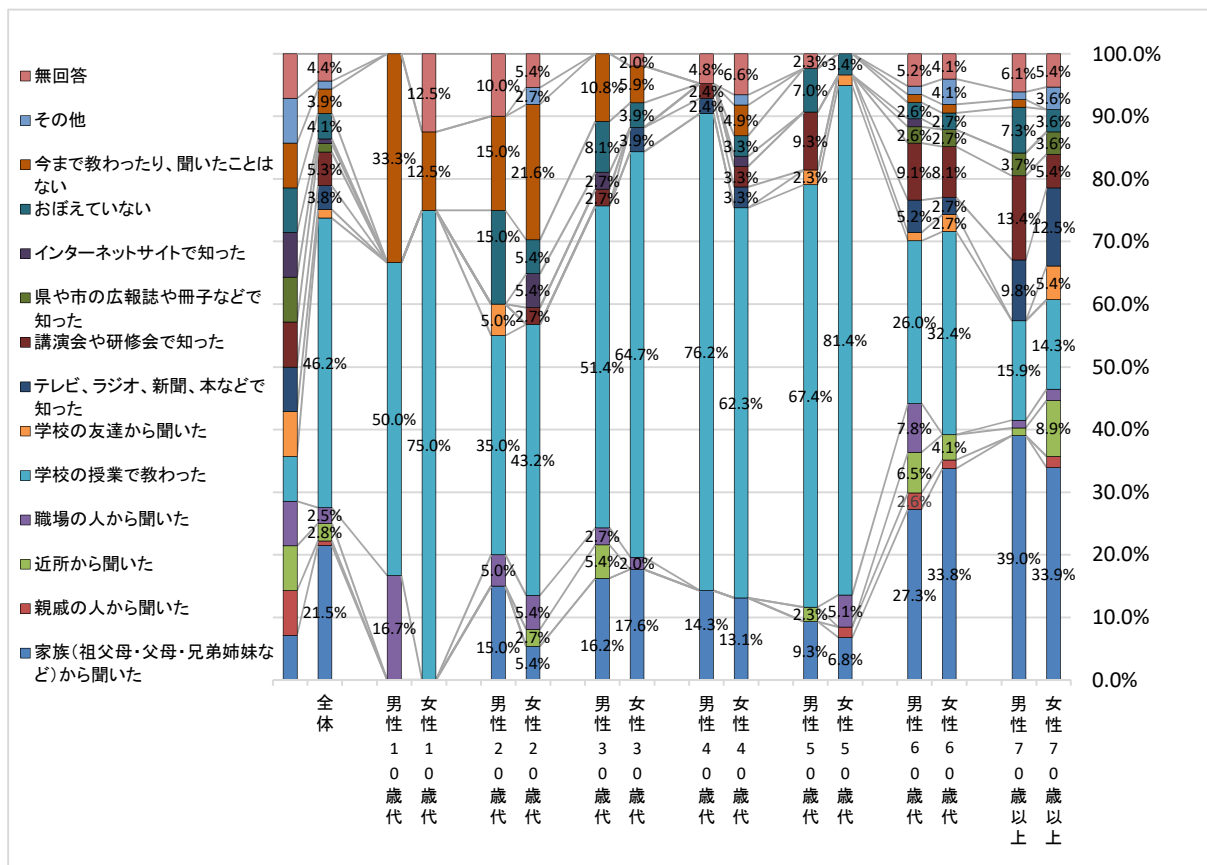
問16-1 あなたが同和問題(部落差別)を、知ったきっかけは次のどれですか。

(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答



※全体・男女別・年代別回答

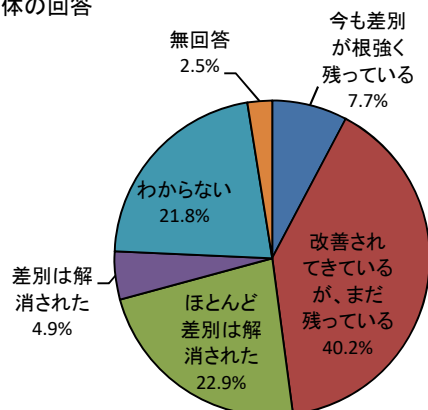


同和問題(部落差別)を知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」と答えた人の割合が46.2%、「家族(祖父母・父母・兄弟姉妹など)から聞いた」と答えた人の割合が21.5%、「講演会や研修会で知った」と答えた人の割合が5.3%などの順となっている。(上位3項目)「学校の授業」と答えたのは、10歳代、30歳代～50歳代が多く、「家族から聞いた」は60歳代・70歳代以上が多くなっている。

問16-2 あなたは同和問題(部落差別)についてどのようにお考えですか。

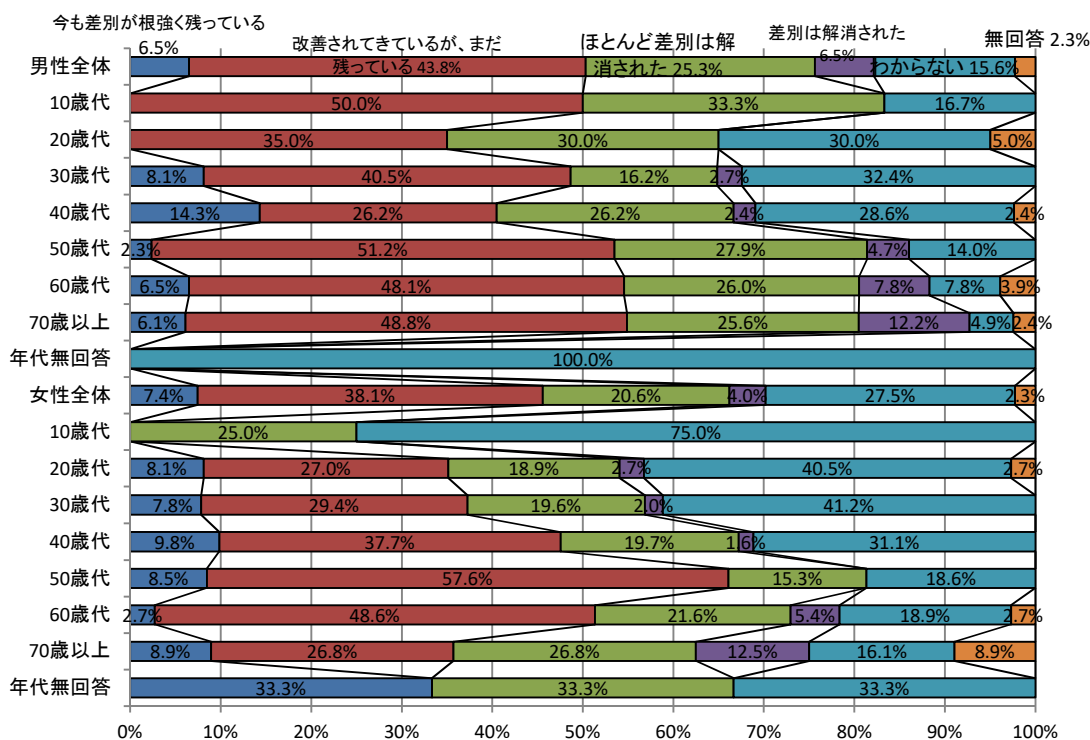
(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答

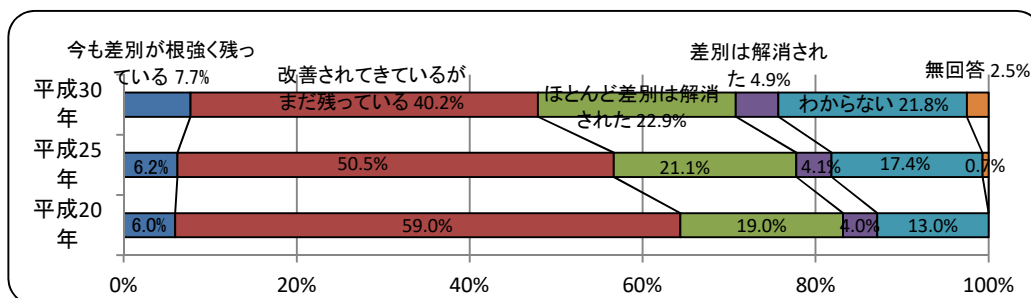


同和問題において「今も差別が根強く残っている」が7.7%、「改善されているがまだ残っている」が40.2%で、合計47.9%がまだ残っていると回答している。前回と比べて、8.8ポイント減少している。また、「ほとんど差別は解消された」が22.9%、「差別は解消された」が4.9%で合計27.8%が解消されたと答えている。前回と比べて2.6ポイント増加した。年代別に見ると、「わからない」と回答したのは50代以上の年代では全て20%を下回っている。

※男女別・年代別回答



※前回との比較

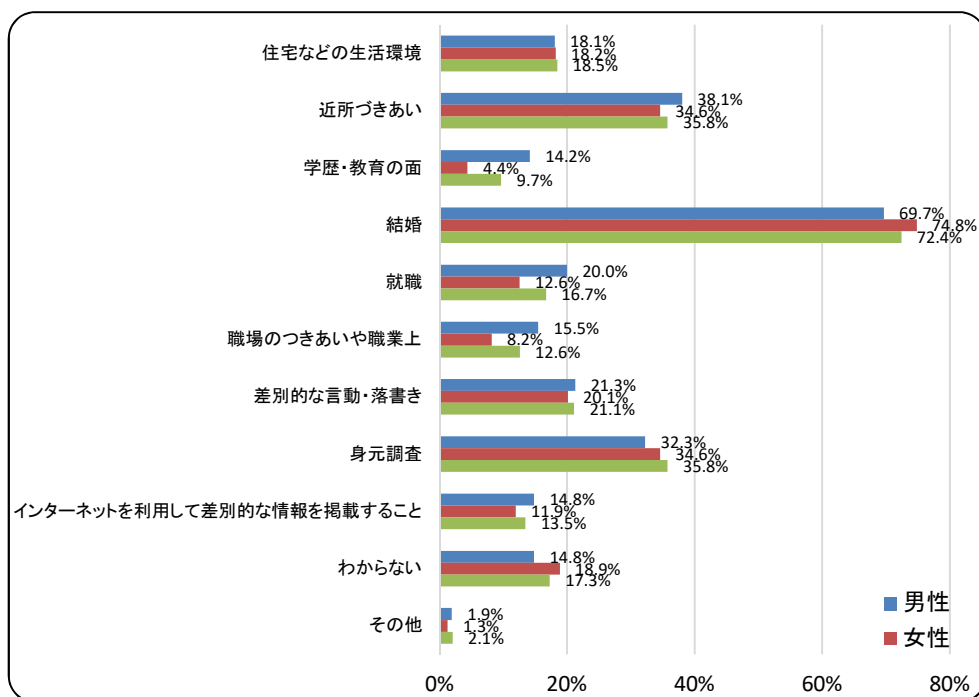


- 「今も差別が根強く残っている」「改善されてきているが、まだ残っている」と答えた方にお聞きします。

問16-3 現在どのような面に同和問題(部落差別)があると思いますか。

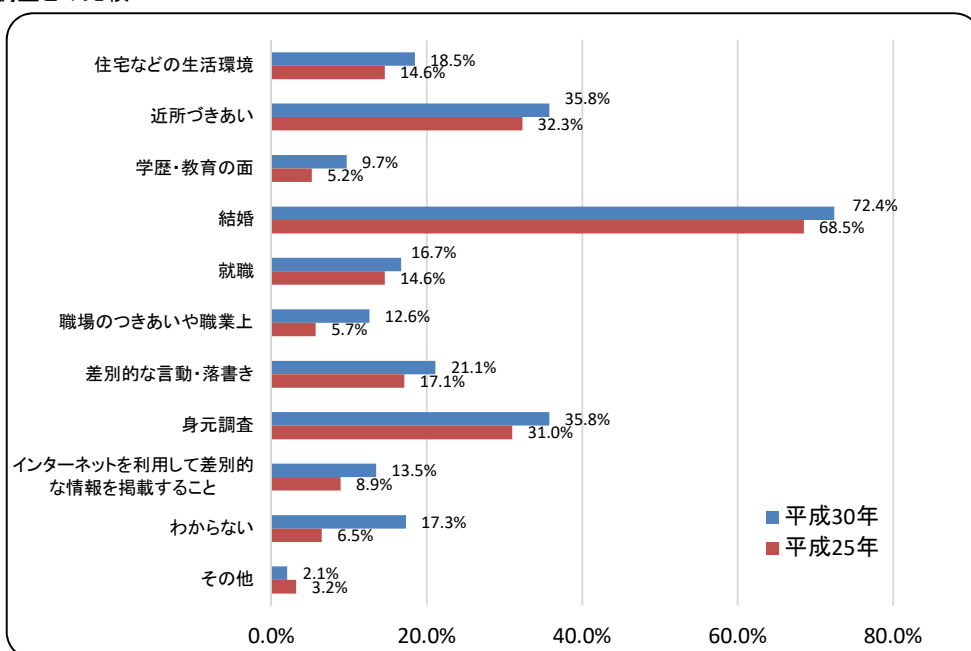
(あると思うものすべてに○をつけてください)

全体・男女別回答



現在、どのような面に同和問題(部落差別)があるかについては、「結婚」を挙げた人の割合が72.4%と最も高く、以下「近所づきあい」35.8%、「身元調査」35.8%、「差別的な言動・落書き」21.1%などの順となっている。(複数回答、上位4項目) 男女別で見ると「学歴・教育の面」、「就職」、「職場のつきあいや職業上」などで男性の割合が女性より高くなっている。

※過去調査との比較



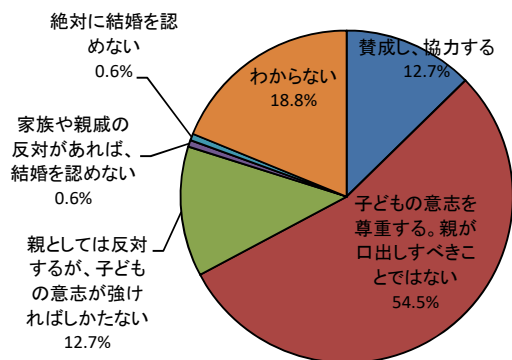
問16-4 結婚していないお子さんをお持ちの方は(1)、結婚されていない方は(2)お答えください。

どちらにも該当しない方は問16-5へお進みください。

(1)[結婚していないお子さんをお持ちの方がお答えください]

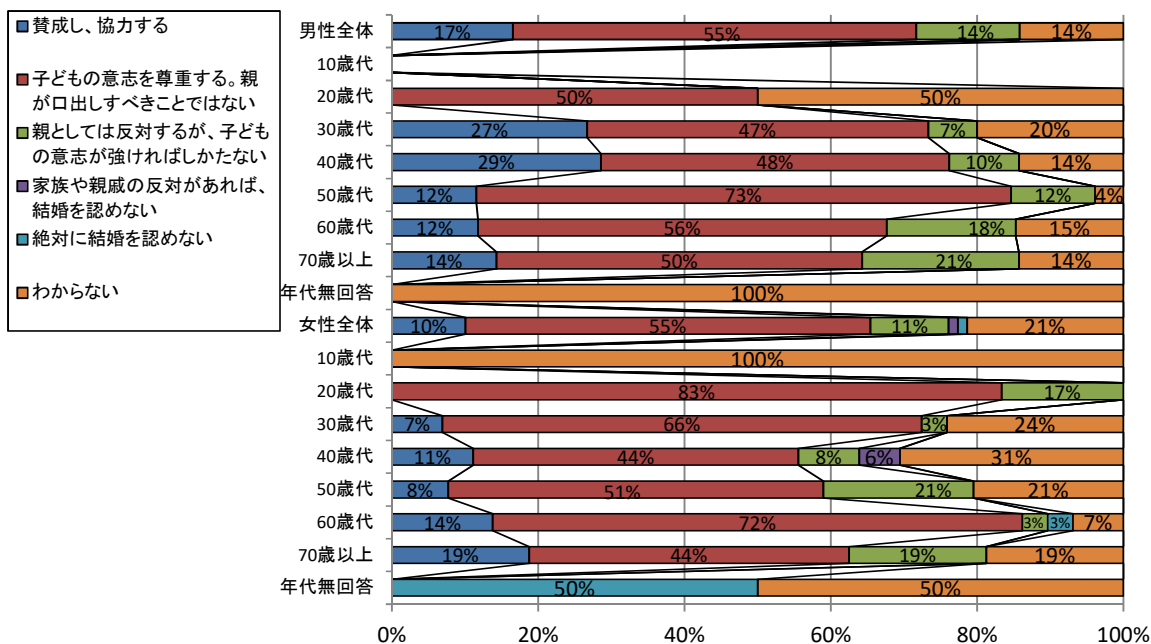
あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落(同和地区)出身の人であると知った場合、あなたはどのようにしますか。
(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答

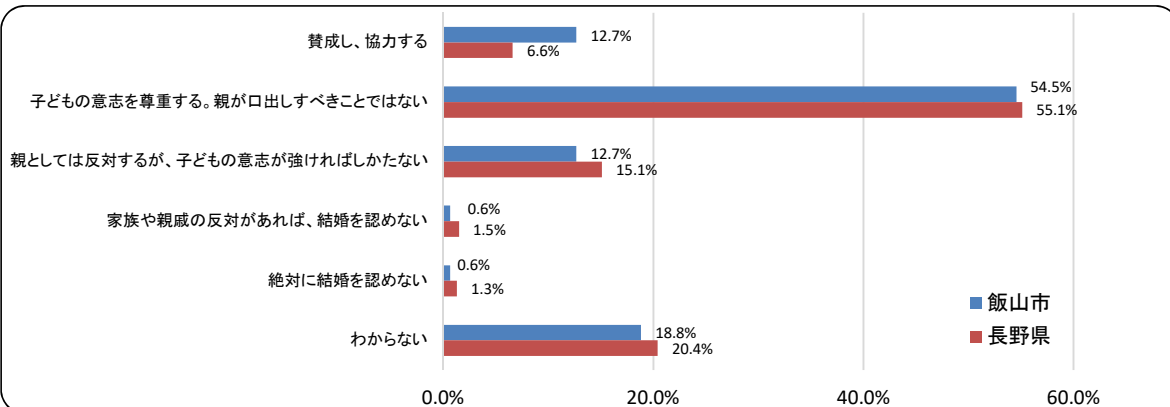


あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落(同和地区)出身の人であると知った場合、あなたはどのようにしますか。という設問に対し、「子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない」は54.5%で、次いで「わからない」18.8%、「賛成し、協力する」、「親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたない」は共に12.7%となっている。
(上位4項目)

※男女別・年代別回答



※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)



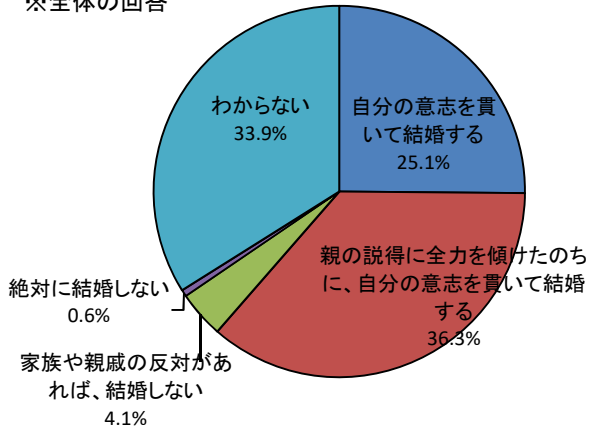
長野県との比較では「賛成」が6.1ポイント高くなっている。一方、「反対・意志尊重」は2.4ポイント長野県より低い。

(2)[結婚されていない方がお答えください]

あなたが被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、
家族や親戚から強い反対を受けたらあなたはどうしますか。

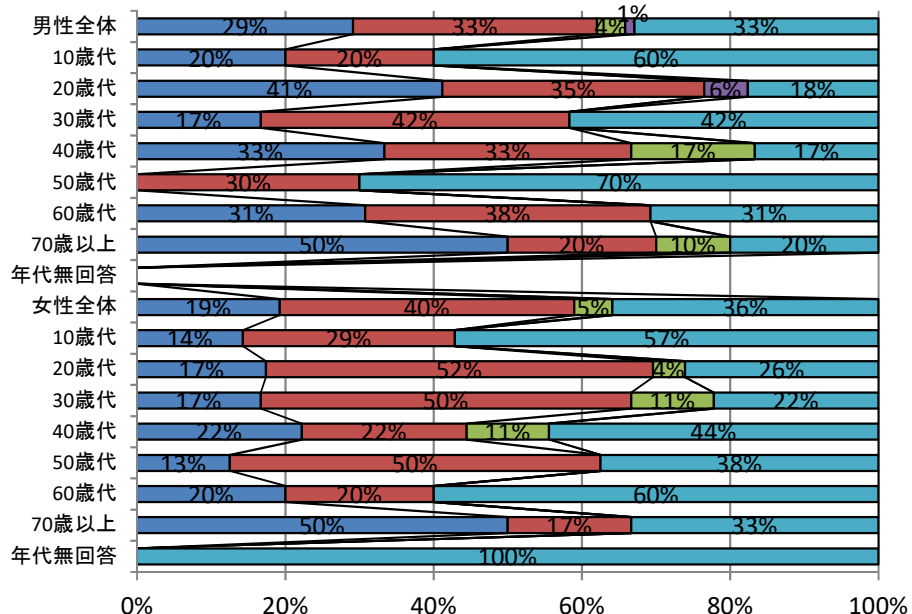
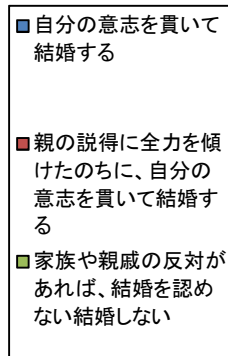
(ひとつだけ○をつけてください)

※全体の回答

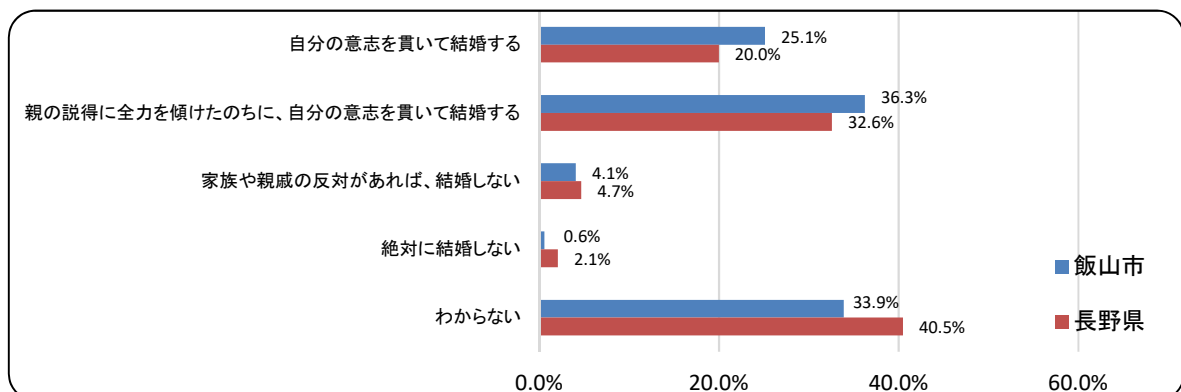


あなたが被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたらあなたはどうしますか。という設問に対し、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」は36.3%で、次いで「わからない」33.9%、「自分の意志を貫いて結婚する」25.1%、「家族や親戚の反対があれば、結婚しない」4.1%となっている。(上位4項目)

※男女別・年代別回答



※長野県との比較(長野県調査は平成27年1月に実施)

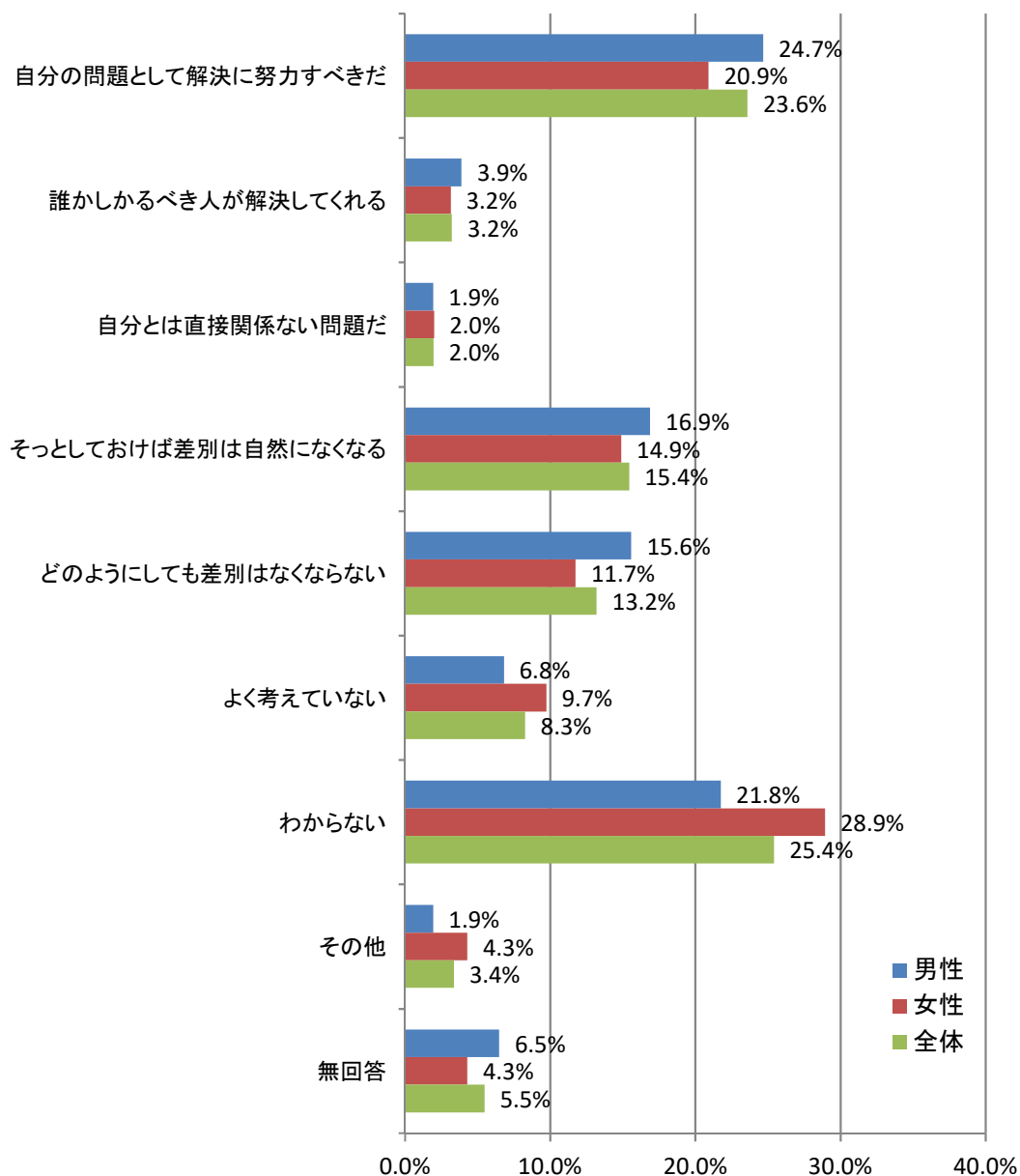


長野県との比較では「意志貫徹」が5.1ポイント高くなっている。一方、「わからない」は6.6ポイント長野県より低い。

問16-5 同和問題(部落差別)を解決するためには、どうしたらよいと思いますか。

(あなたの考えに近いものひとつだけ○をつけてください)

※全体・男女別の回答



「わからない」が25.4%で最も高い。次いで「自分の問題として解決に努力すべきだ」で23.6%。また、「どのようにしても差別はなくなる」が13.2%。(上位3項目)

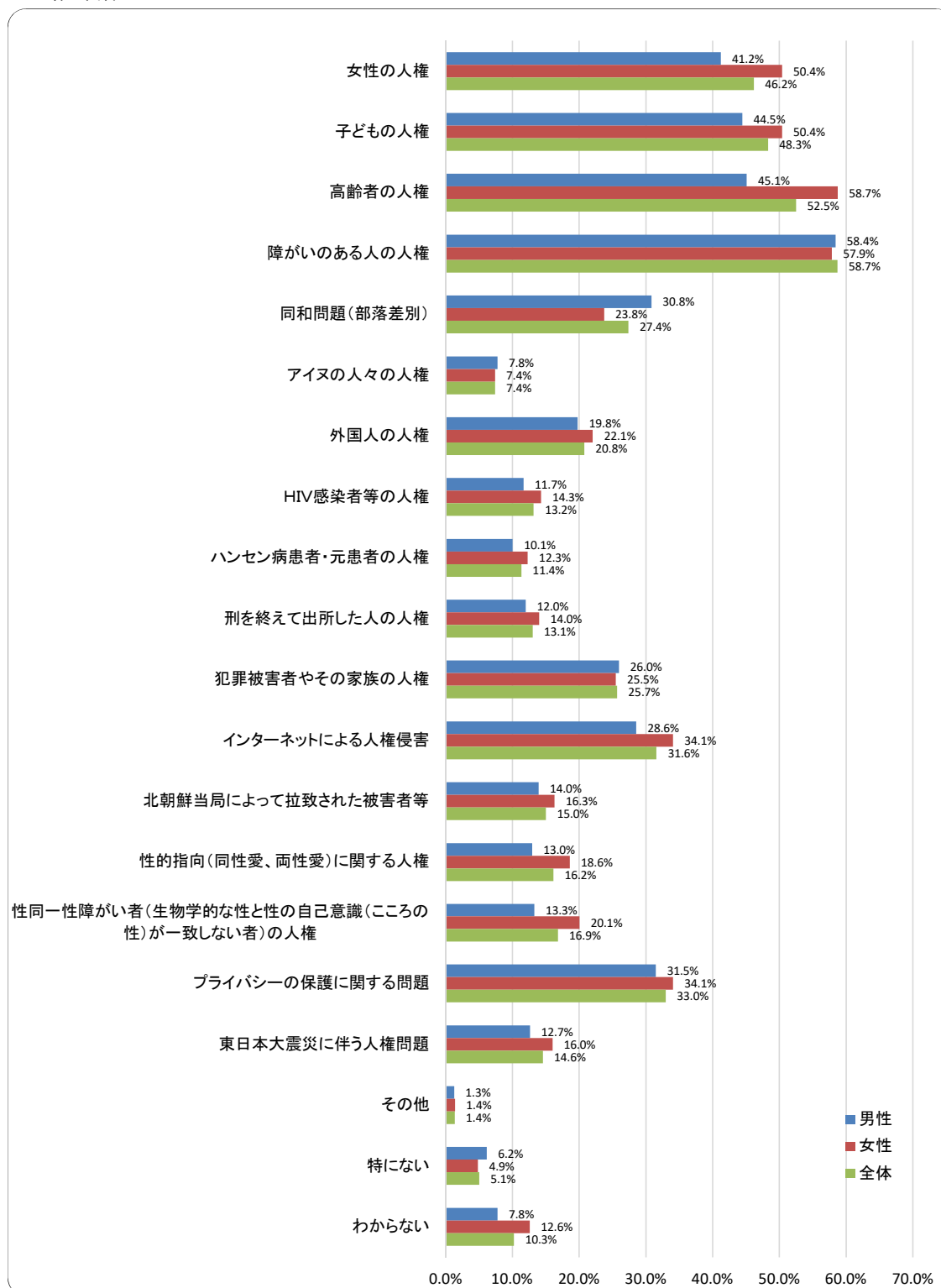
男女別では大きな差のある項目はなかった。

V 人権課題を解決する方策について

問17 今後、人権課題として、市が積極的に取り組む必要があると思われる課題はどれですか。

(必要があると思うものすべてに○をつけてください)

※全体の回答

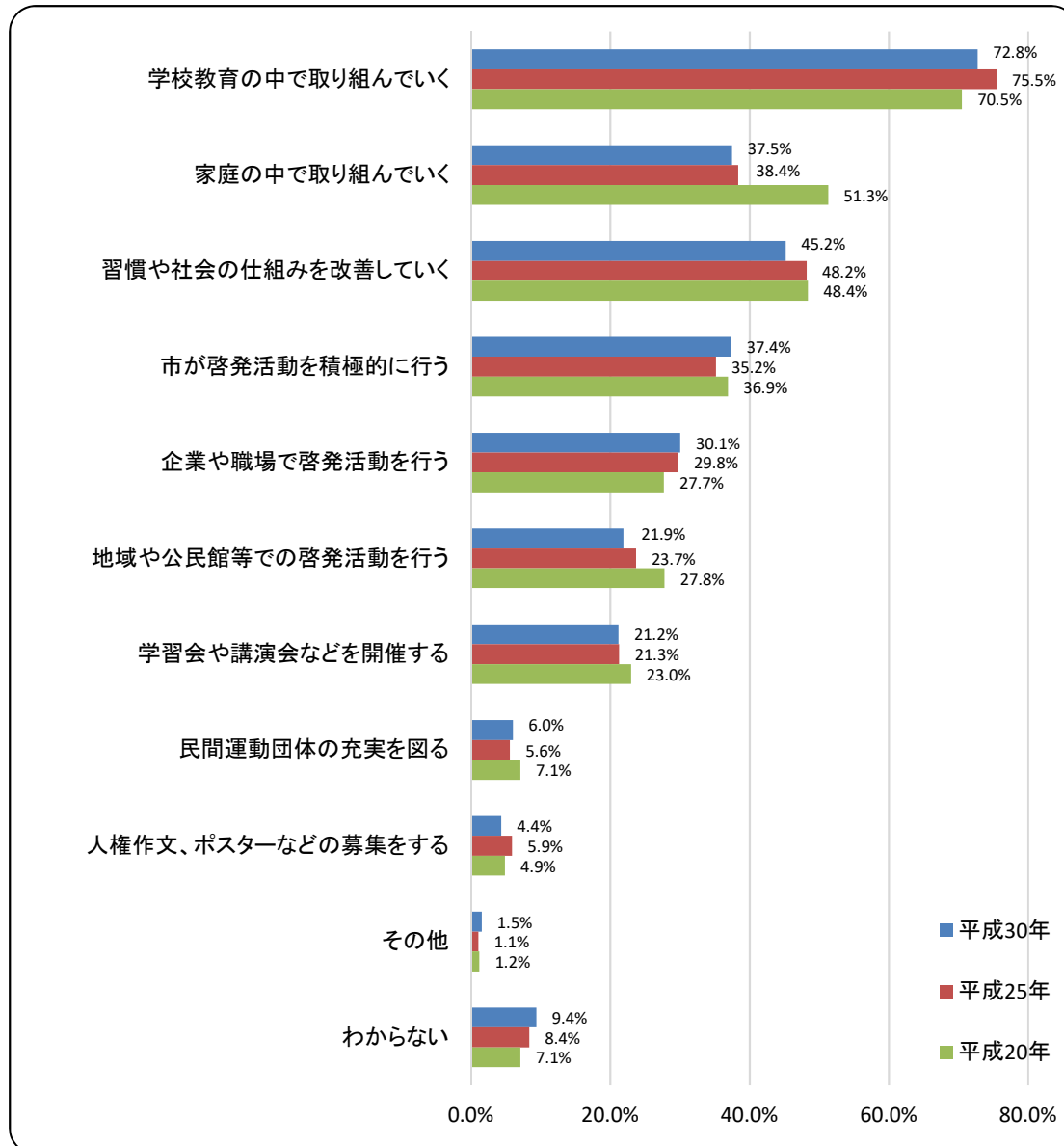


回答の上位5つは「障がいのある人の人権」58.7%、「高齢者の人権」52.5%、「子どもの人権」48.3%、「女性の人権」46.2%、「プライバシーの保護に関する問題」33%の順となっている。男女別で見るとほとんど差はないが、「高齢者の人権」、「女性の人権」を挙げた女性の割合が男性より高くなっている。

問18 あなたは、人権問題に理解を深め人権意識を高めていくためには、今後どのような取り組みが必要だとお考えですか。

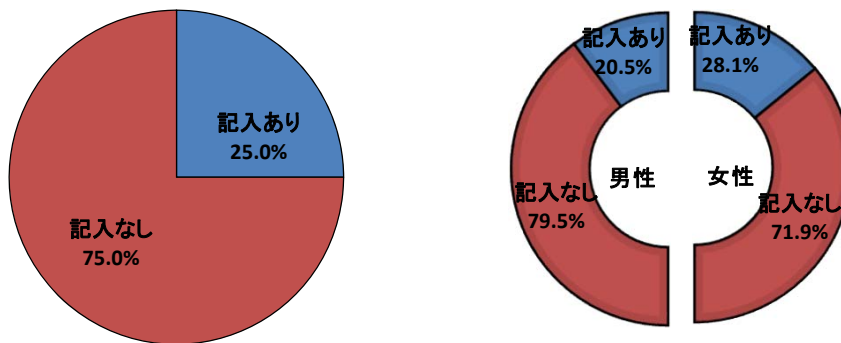
(○は5つまで)

※全体の回答



今後の取り組みで必要なのは「学校教育の中で取り組んでいく」が72.8%で最も高く、以下「習慣や社会の仕組みを改善していく」45.2%、「家庭の中で取り組んでいく」37.5%、「市が啓発活動を積極的に行う」37.4%、「企業や職場で啓発活動を行う」30.1%、「地域や公民館等での啓発活動を行う」21.9%などの順になっている。
 (複数回答、上位6項目) 前回と比較すると、「習慣や社会の仕組みを改善していく」が3ポイント減少し、「市が啓発活動を積極的に行う」が2.2ポイント増加している。

問19 人権教育や人権啓発の推進、同和問題(部落差別)をはじめとするあらゆる人権課題の解決などについて、ご意見、ご希望をお書き下さい。



記述者178人(回答者712人の25%にあたる)

調 査 資 料

人権に関する市民意識調査調査票

人権に関する市民意識調査

平成 30 年 12 月
飯 山 市

日頃より市政の推進にご協力いただきありがとうございます。

さて、飯山市では、平成 24 年 3 月「飯山市人権政策推進に関する基本方針」を策定し、行政運営の指針と位置づけ人権が尊重される視点にたって、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めています。

しかし、少子・高齢化、国際化、情報化の進展などに伴って新たな問題が生じてくるなど人権問題は多様化、複雑化しています。市では平成 25 年に「人権に関する市民意識調査」を実施し 5 年が経過します。今後の人権施策の基礎資料とするため、市民の皆様から人権についての考えをお聞かせいただくことにしました。

この調査は 18 歳以上の市民から無作為に 2,000 人を選び、送付しています。

無記名でお答えいただきますので、あなたのお名前や回答の内容が公表されることはなく、調査目的以外には使用しませんので、日頃考えていることを率直にお書きください。お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

「飯山市人権政策推進に関する基本方針」では「①同和問題 ②外国人 ③女性 ④子ども ⑤高齢者 ⑥障害のある人 ⑦様々な人権」の人権問題を取り上げています。

■ 記入にあたってのお願い

- 1 **宛名のご本人が記入**してください。本人の記入が困難な場合は、ご家族等が本人から聞き取って代筆をお願いします。
- 2 回答はボールペンか鉛筆で、当てはまる答えの番号に○印をしてください。
質問によっては**1つだけ選んで**いただく場合と、**複数選んで**いただく場合があります。

■ 回答時間の目安

アンケートの所要時間は約 20 分です。（設問数 41）
大切な調査ですので、是非ご協力をお願いします。

■ 調査票の返送

回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて
平成 31 年 1 月 11 日（金）までに投函してください。

■ 調査に関する問い合わせ

この調査に関するご質問などありましたら、下記までご連絡ください。

飯山市教育委員会 教育部 人権政策課 人権同和係
電話 62-3111(代) 内線 332

人権に関する市民意識調査

I 人権意識について

問1 あなたは「人権」ということについてどのようにお考えですか。

(1) 重要である(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | |
|----------------------------|-----------|----------------------------|-----------|
| 1 ☐ | そう思う | 4 ☐ | あまりそう思わない |
| 2 ☐ | 少しそう思う | 5 ☐ | そう思わない |
| 3 ☐ | どちらともいえない | | |

(2) 自分に関係が深い(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | |
|----------------------------|-----------|----------------------------|-----------|
| 1 ☐ | そう思う | 4 ☐ | あまりそう思わない |
| 2 ☐ | 少しそう思う | 5 ☐ | そう思わない |
| 3 ☐ | どちらともいえない | | |

問2 日本の社会では、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題(部落差別)などの差別をはじめさまざまな人権問題がありますが、あなたは、人権問題に関心を持っていますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | |
|----------------------------|---------|----------------------------|----------|
| 1 ☐ | 関心がある | 3 ☐ | あまり関心がない |
| 2 ☐ | 少し関心がある | 4 ☐ | 関心がない |

問3 人権に関することで、あなたが見聞きしたことがあるものはどれですか。

(見聞きしたものすべてに○をつけてください)

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1 ☐ | 障害者差別解消法(正式名称:障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律) |
| 2 ☐ | ヘイトスピーチ解消法(正式名称:本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律) |
| 3 ☐ | 部落差別解消推進法(正式名称:部落差別の解消の推進に関する法律) |
| 4 ☐ | 人権週間 |
| 5 ☐ | 人権擁護委員 |
| 6 ☐ | 人権の花運動 |
| 7 ☐ | 飯山市人権政策課 |
| 8 ☐ | 飯山市人権政策推進協議会 |
| 9 ☐ | 飯山市人権同和男女共同参画地域推進員 |
| 10 ☐ | 飯山市企業人権教育推進協議会 |
| 11 ☐ | いいやま人権福祉センター |
| 12 ☐ | 人権尊重都市宣言 |
| 13 ☐ | 差別のない明るい飯山市を築く条例 |
| 14 ☐ | 飯山市人権政策推進に関する基本方針 |
| 15 ☐ | 児童虐待・DV24時間ホットライン |
| 16 ☐ | 見聞きしたものはなし |

問4 人権に関する講演会・懇談会・学習会・イベントに参加したことがありますか。

(参加したことがあるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|-----------------|
| 1 | ☐ | 市が行う講座・研修会・市民大会 |
| 2 | ☐ | 集落の懇談会 |
| 3 | ☐ | 地区公民館等の講演会・研修会 |
| 4 | ☐ | 学校・PTAの講演会・研修会 |
| 5 | ☐ | 職場内の講演会・研修会 |
| 6 | ☐ | その他 () |
| 7 | ☐ | 参加したことはない |

Ⅱ 人権侵害について

問5 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

(どちらかに○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|----|---|--------------------------|----|
| 1 | ☐ | ある | 2 | ☐ | ない |
|---|--------------------------|----|---|--------------------------|----|

●「ある」と答えた方は、次の問5-1へお進みください。

「ない」と答えた方は、問6へお進みください。

問5-1 その人権侵害はどのようなものでしたか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|-----------------------|
| 1 | ☐ | 悪口・噂 |
| 2 | ☐ | 仲間はずし・無視 |
| 3 | ☐ | プライバシーの侵害 |
| 4 | ☐ | 差別待遇 |
| 5 | ☐ | 暴力・脅迫・強要 |
| 6 | ☐ | 虐待 |
| 7 | ☐ | セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ) |
| 8 | ☐ | パワー・ハラスメント |
| 9 | ☐ | マタニティ・ハラスメント |
| 10 | ☐ | その他 () |

問5-2 その人権侵害はどこでありましたか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|-----|---|--------------------------|---------|
| 1 | ☐ | 学校 | 4 | ☐ | 地域社会 |
| 2 | ☐ | 職場 | 5 | ☐ | インターネット |
| 3 | ☐ | 家庭内 | 6 | ☐ | その他 () |

問5-3 それは、どのような理由による人権侵害ですか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|----------------|----|--------------------------|--------------------|
| 1 | ☐ | 学歴・出身校 | 9 | ☐ | 障がいがあること |
| 2 | ☐ | 住んでいる場所 | 10 | ☐ | 思想・信条 |
| 3 | ☐ | 性別(女または男であること) | 11 | ☐ | 被差別部落(同和地区)出身 |
| 4 | ☐ | 容姿 | 12 | ☐ | 国籍・人種・民族 |
| 5 | ☐ | 収入・財産 | 13 | ☐ | 性的指向及び性同一性障害(LGBT) |
| 6 | ☐ | 職業・親の職業 | 14 | ☐ | 逮捕・犯罪歴 |
| 7 | ☐ | 母子家庭・父子家庭 | 15 | ☐ | その他 () |
| 8 | ☐ | 病気 | | | |

問5-4 そのとき、どのような対応をしましたか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|------------------|
| 1 | ☐ | 相手に抗議した |
| 2 | ☐ | 家族に相談した |
| 3 | ☐ | 友人、知人に相談した |
| 4 | ☐ | 学校の先生に相談した |
| 5 | ☐ | 弁護士に相談した |
| 6 | ☐ | 法務局又は人権擁護委員に相談した |
| 7 | ☐ | 地域振興局など県の機関に相談した |
| 8 | ☐ | 市役所に相談した |
| 9 | ☐ | 警察に相談した |
| 10 | ☐ | NPO等の民間団体に相談した |
| 11 | ☐ | 黙って我慢した |
| 12 | ☐ | その他 () |

Ⅲ 主な人権課題に関する意識について

問6 あなたは、社会で女性に対する差別・偏見はあると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | ☐ | あると思う | 4 | ☐ | ないと思う |
| 2 | ☐ | どちらかといえばあると思う | 5 | ☐ | わからない |
| 3 | ☐ | どちらかといえばないと思う | | | |

問6－1 あなたは、女性に関することがらで、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 1 | ☐ | 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)を他の人に押しつけること |
| 2 | ☐ | 職場における差別待遇(女性が管理職になりにくい等) |
| 3 | ☐ | 配偶者や交際相手からの暴力(酒に酔ってなぐるなど) |
| 4 | ☐ | セクシャル・ハラスメント(性的嫌がらせ) |
| 5 | ☐ | マタニティ・ハラスメント(妊婦・出産した女性に対する嫌がらせ) |
| 6 | ☐ | 売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む) |
| 7 | ☐ | 女性の性を強調した広告、雑誌等 |
| 8 | ☐ | 女性の働く風俗営業 |
| 9 | ☐ | 「令夫人」、「婦人」、「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉 |
| 10 | ☐ | 特にない |
| 11 | ☐ | わからない |
| 12 | ☐ | その他() |

問6－2 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考えについてどう思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|-------------------|
| 1 | ☐ | そのとおりだと思う |
| 2 | ☐ | どちらかといえばそのとおりだと思う |
| 3 | ☐ | どちらかといえばそう思わない |
| 4 | ☐ | そう思わない |
| 5 | ☐ | わからない |

問7 あなたは、社会で子どもの人権が守られていると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|--------------------|
| 1 | ☐ | 守られていると思う |
| 2 | ☐ | どちらかといえば守られていると思う |
| 3 | ☐ | どちらかといえば守られていないと思う |
| 4 | ☐ | 守られていないと思う |
| 5 | ☐ | わからない |

問7－1 あなたは、子どもに関することがらで、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 1 | ☐ | 「仲間はずし」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行うこと |
| 2 | ☐ | いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること |
| 3 | ☐ | 授業中、先生が騒いだ子どもをなぐるなど体罰を加えること |
| 4 | ☐ | 親が子どもに暴力をふるうなど子どもを虐待すること |
| 5 | ☐ | 学校や就職先の選択など子どもの意見について、大人がその意見を見無視すること |
| 6 | ☐ | 性的被害(性的嫌がらせ・痴漢・性的虐待・児童買春・児童ポルノ等) |
| 7 | ☐ | 食事を与えないなど子育てを放棄すること |
| 8 | ☐ | 特にない |
| 9 | ☐ | わからない |
| 10 | ☐ | その他 () |

問8 あなたは、社会で高齢者に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | ☐ | あると思う | 4 | ☐ | ないと思う |
| 2 | ☐ | どちらかといえばあると思う | 5 | ☐ | わからない |
| 3 | ☐ | どちらかといえばないと思う | | | |

問8-1 あなたは、高齢者に関することがらで、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|------------------------------|
| 1 | ☐ | 経済的に自立が困難なこと |
| 2 | ☐ | 社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと |
| 3 | ☐ | 悪徳商法の被害者が多いこと(振り込め詐欺等) |
| 4 | ☐ | 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待をすること |
| 5 | ☐ | 病院での看護や福祉施設において劣悪な処遇や虐待をすること |
| 6 | ☐ | 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること |
| 7 | ☐ | 高齢者の意見や行動を尊重しないこと |
| 8 | ☐ | 高齢者の特性(認知症等)に関する理解が不足していること |
| 9 | ☐ | 地域、家族等とのつながりのない独居老人の孤独死 |
| 10 | ☐ | 特にない |
| 11 | ☐ | わからない |
| 12 | ☐ | その他() |

問9 あなたは、社会で障がいのある人に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | ☐ | あると思う | 4 | ☐ | ないと思う |
| 2 | ☐ | どちらかといえばあると思う | 5 | ☐ | わからない |
| 3 | ☐ | どちらかといえばないと思う | | | |

問9-1 あなたは、障がい者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|----------------------------|
| 1 | ☐ | 結婚問題で周囲が反対すること |
| 2 | ☐ | 就職・職場で不利な扱いをすること |
| 3 | ☐ | 差別的な言動をすること |
| 4 | ☐ | 悪徳商法の被害者が多いこと |
| 5 | ☐ | アパート等の住宅への入居が困難なこと |
| 6 | ☐ | スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと |
| 7 | ☐ | じろじろ見られたり、避けられたりすること |
| 8 | ☐ | 人々の障がい者に対する理解が足りないこと |
| 9 | ☐ | 特にない |
| 10 | ☐ | わからない |
| 11 | ☐ | その他() |

問10 あなたは、日本に居住している外国人に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | ☐ | あると思う | 4 | ☐ | ないと思う |
| 2 | ☐ | どちらかといえばあると思う | 5 | ☐ | わからない |
| 3 | ☐ | どちらかといえばないと思う | | | |

問10-1 日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| 1 | ☐ | 交際や関わりを避けるなど、地域社会での理解や認識が十分でないこと |
| 2 | ☐ | 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いをすること |
| 3 | ☐ | 外国人の行政への参画機会が少ないこと |
| 4 | ☐ | 言語が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと |
| 5 | ☐ | 結婚問題で周囲が反対すること |
| 6 | ☐ | アパート等の住宅への入居を拒否すること |
| 7 | ☐ | ヘイトスピーチなど特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動を行うこと |
| 8 | ☐ | 特にない |
| 9 | ☐ | わからない |
| 10 | ☐ | その他 () |

問11 あなたは、HIV(エイズウイルス)感染者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | ☐ | あると思う | 4 | ☐ | ないと思う |
| 2 | ☐ | どちらかといえばあると思う | 5 | ☐ | わからない |
| 3 | ☐ | どちらかといえばないと思う | | | |

問11-1 あなたは、HIV(エイズウイルス)感染者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|---------------------|
| 1 | ☐ | 結婚問題で周囲が反対すること |
| 2 | ☐ | 就職・職場で不利な扱いをすること |
| 3 | ☐ | 治療や入院を断ること |
| 4 | ☐ | 無断でエイズ検査等を行うこと |
| 5 | ☐ | 差別的な言動をすること |
| 6 | ☐ | アパート等の住宅への入居を拒否すること |
| 7 | ☐ | 宿泊を拒否すること |
| 8 | ☐ | 特にない |
| 9 | ☐ | わからない |
| 10 | ☐ | その他 () |

問12 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|---|--------------------------|-------|
| 1 | ☐ | あると思う | 4 | ☐ | ないと思う |
| 2 | ☐ | どちらかといえばあると思う | 5 | ☐ | わからない |
| 3 | ☐ | どちらかといえばないと思う | | | |

問12-1 現在どのような面にハンセン病患者・元患者やその家族に対する差別・偏見があると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|-----------------------------|
| 1 | ☐ | 結婚問題で周囲が反対すること |
| 2 | ☐ | 就職・職場で不利な扱いをすること |
| 3 | ☐ | 治療や入院を断ること |
| 4 | ☐ | ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと |
| 5 | ☐ | 差別的な言動をすること |
| 6 | ☐ | アパート等の住宅への入居を拒否すること |
| 7 | ☐ | 宿泊を拒否すること |
| 8 | ☐ | 特にない |
| 9 | ☐ | わからない |
| 10 | ☐ | その他 () |

問13 あなたは、犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| 1 | ☐ | 犯罪行為によって精神的なショックを受けること |
| 2 | ☐ | 犯罪行為によって経済的負担を受けること |
| 3 | ☐ | 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること |
| 4 | ☐ | 相談窓口に相談しても期待どおりの結果が得られないこと |
| 5 | ☐ | 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること |
| 6 | ☐ | 刑事裁判手続きに必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと |
| 7 | ☐ | 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること |
| 8 | ☐ | 精神的負担や経済的負担を周囲の人が理解してくれないこと |
| 9 | ☐ | 特にない |
| 10 | ☐ | わからない |
| 11 | ☐ | その他 () |

問14 あなたは、インターネットに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|-------------------------------|
| 1 | ☐ | 他人を誹謗中傷する表現を掲載すること |
| 2 | ☐ | 差別を助長する表現を掲載すること |
| 3 | ☐ | 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること |
| 4 | ☐ | 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること |
| 5 | ☐ | ネットポルノが存在していること |
| 6 | ☐ | SNS(LINE等)において仲間はずしが行われていること |
| 7 | ☐ | 特にない |
| 8 | ☐ | わからない |
| 9 | ☐ | その他 () |

問15 あなたは、性的指向(同性愛、両性愛)及び性同一性障がい者(生物学的な性ところの性が一致しない者)に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|-----------------------------|
| 1 | ☐ | 職場・学校において、嫌がらせをすること |
| 2 | ☐ | 差別的な言動をすること |
| 3 | ☐ | 就職・職場で不利な扱いをすること |
| 4 | ☐ | アパート等の住宅への入居を拒否すること |
| 5 | ☐ | 宿泊を拒否すること |
| 6 | ☐ | 店舗等への入店や施設利用を拒否すること |
| 7 | ☐ | じろじろ見られたり、避けられたりすること |
| 8 | ☐ | 性的指向及び性同一性障がい者に対する理解が足りないこと |
| 9 | ☐ | 特にない |
| 10 | ☐ | わからない |
| 11 | ☐ | その他 () |

IV 同和問題(部落差別)に関する意識について

問16 あなたは、同和問題(部落差別)を知っていますか。

(どちらかに○をつけてください)

- | | | | | | |
|---|--------------------------|-------|---|--------------------------|------|
| 1 | ☐ | 知っている | 2 | ☐ | 知らない |
|---|--------------------------|-------|---|--------------------------|------|

問16-1 あなたが同和問題(部落差別)を、知ったきっかけは次のどれですか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|------------------------|
| 1 | ☐ | 家族(祖父母・父母・兄弟姉妹など)から聞いた |
| 2 | ☐ | 親戚の人から聞いた |
| 3 | ☐ | 近所から聞いた |
| 4 | ☐ | 職場の人から聞いた |
| 5 | ☐ | 学校の授業で教わった |
| 6 | ☐ | 学校の友達から聞いた |
| 7 | ☐ | テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った |
| 8 | ☐ | 講演会や研修会で知った |
| 9 | ☐ | 県や市の広報誌や冊子などで知った |
| 10 | ☐ | インターネットサイトで知った |
| 11 | ☐ | おぼえていない |
| 12 | ☐ | 今まで教わったり、聞いたことはない |
| 13 | ☐ | その他 () |

問16-2 あなたは同和問題(部落差別)についてどのようにお考えですか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|--------------------|
| 1 | ☐ | 今も差別が根強く残っている |
| 2 | ☐ | 改善されてきているが、まだ残っている |
| 3 | ☐ | ほとんど差別は解消された |
| 4 | ☐ | 差別は解消された |
| 5 | ☐ | わからない |

- 「今も差別が根強く残っている」「改善されてきているが、まだ残っている」と
答えた方は問16-3へお進みください。 それ以外の方は問16-4へお進みください。

問16-3 現在どのような面に同和問題(部落差別)があると思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|---------------------------|
| 1 | ☐ | 住宅などの生活環境 |
| 2 | ☐ | 近所づきあい |
| 3 | ☐ | 学歴・教育の面 |
| 4 | ☐ | 結婚 |
| 5 | ☐ | 就職 |
| 6 | ☐ | 職場のつきあいや職業上 |
| 7 | ☐ | 差別的な言動・落書き |
| 8 | ☐ | 身元調査 |
| 9 | ☐ | インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること |
| 10 | ☐ | わからない |
| 11 | ☐ | その他 () |

問16-4 結婚していないお子さんをお持ちの方は(1)、結婚されていない方は(2)お答えください。
どちらにも該当しない方は問16-5へお進みください。

(1)[結婚していないお子さんをお持ちの方がお答えください]

あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落(同和地区)出身の人であると知った場合、あなたはどのようにしますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|-----------------------------|
| 1 | ☐ | 賛成し、協力する |
| 2 | ☐ | 子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない |
| 3 | ☐ | 親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたない |
| 4 | ☐ | 家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない |
| 5 | ☐ | 絶対に結婚を認めない |
| 6 | ☐ | わからない |

(2)[結婚されていない方がお答えください]

あなたが被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたらあなたはどのようにしますか。

(ひとつだけ○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|------------------------------|
| 1 | ☐ | 自分の意志を貫いて結婚する |
| 2 | ☐ | 親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する |
| 3 | ☐ | 家族や親戚の反対があれば、結婚しない |
| 4 | ☐ | 絶対に結婚しない |
| 5 | ☐ | わからない |

問16-5 同和問題(部落差別)を解決するためには、どうしたらよいと思いますか。

(あなたの考えに近いものひとつだけ○をつけてください)

- | | | |
|---|--------------------------|--------------------|
| 1 | ☐ | 自分の問題として解決に努力すべきだ |
| 2 | ☐ | 誰かしかるべき人が解決してくれる |
| 3 | ☐ | 自分とは直接関係ない問題だ |
| 4 | ☐ | そっとしておけば差別は自然になくなる |
| 5 | ☐ | どのようにしても差別はなくなる |
| 6 | ☐ | よく考えていない |
| 7 | ☐ | わからない |
| 8 | ☐ | その他 () |

V 人権課題を解決する方策について

問17 今後、人権課題として、市が積極的に取り組む必要があると思われる課題はどれですか。

(必要があると思うものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 1 | ☐ | 女性の人権 |
| 2 | ☐ | 子どもの人権 |
| 3 | ☐ | 高齢者の人権 |
| 4 | ☐ | 障がいのある人の人権 |
| 5 | ☐ | 同和問題(部落差別) |
| 6 | ☐ | アイヌの人々の人権 |
| 7 | ☐ | 外国人の人権 |
| 8 | ☐ | HIV感染者等の人権 |
| 9 | ☐ | ハンセン病患者・元患者の人権 |
| 10 | ☐ | 刑を終えて出所した人の人権 |
| 11 | ☐ | 犯罪被害者やその家族の人権 |
| 12 | ☐ | インターネットによる人権侵害 |
| 13 | ☐ | 北朝鮮当局によって拉致された被害者等 |
| 14 | ☐ | 性的指向(同性愛、両性愛)に関する人権 |
| 15 | ☐ | 性同一性障がい者(生物学的な性と性の自己意識(こころの性)が一致しない者)の人権 |
| 16 | ☐ | プライバシーの保護に関する問題 |
| 17 | ☐ | 東日本大震災に伴う人権問題 |
| 18 | ☐ | その他 () |
| 19 | ☐ | 特になし |
| 20 | ☐ | わからない |

問18 あなたは、人権問題に理解を深め人権意識を高めていくためには、今後どのような取り組みが必要だとお考えですか。

(○は5つまで)

- | | | |
|----|--------------------------|-------------------|
| 1 | ☐ | 学校教育の中で取り組んでいく |
| 2 | ☐ | 家庭の中で取り組んでいく |
| 3 | ☐ | 習慣や社会の仕組みを改善していく |
| 4 | ☐ | 市が啓発活動を積極的に行う |
| 5 | ☐ | 企業や職場で啓発活動を行う |
| 6 | ☐ | 地域や公民館等での啓発活動を行う |
| 7 | ☐ | 学習会や講演会などを開催する |
| 8 | ☐ | 民間運動団体の充実を図る |
| 9 | ☐ | 人権作文、ポスターなどの募集をする |
| 10 | ☐ | その他 () |
| 11 | ☐ | わからない |

問19 人権教育や人権啓発の推進、同和問題(部落差別)をはじめとするあらゆる人権課題の解決などについて、ご意見、ご希望をお書き下さい。

--

F1 [性] あなたの性別をお書きください。

(どちらかに○をつけてください)

1 ☐ 男

2 ☐ 女

F2 [年齢] あなたの年齢は満でいくつですか。

(年齢に○をつけてください)

1 ☐ 10歳代(18、19歳の方)

5 ☐ 50歳代

2 ☐ 20歳代

6 ☐ 60歳代

3 ☐ 30歳代

7 ☐ 70歳以上

4 ☐ 40歳代

F3 お住まいの地区名

(お住まいの地区に○をつけてください)

1 ☐ 飯山地区

6 ☐ 富倉地区

2 ☐ 秋津地区

7 ☐ 外様地区

3 ☐ 木島地区

8 ☐ 常盤地区

4 ☐ 瑞穂地区

9 ☐ 太田地区

5 ☐ 柳原地区

10 ☐ 岡山地区

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。



人権に関する市民意識調査 報告書

令和元年6月

発行 長野県飯山市大字飯山1110-1

飯山市教育委員会事務局 教育部人権政策課

電話 (0269)62-3111(代)